



中部地域の 都市生態系における希少種保全活動

都市は、日本の国土面積に占める割合はわずかでありながら、公園緑地など都市特有の環境に適応した様々な生き物が暮らす生態系を有しています。一見、周囲から孤立しているように見えがちな都市生態系ですが、森林や河川など周辺の自然環境を連結し、一体化させるネットワーク要素として重要な役割を担っています。

■ 都市生態系における保全対象

保全対象		活動団体	地域	頁
哺乳類	ニホンリス	守山リス研究会	愛知県	2-53
			—	2-52
昆虫類	ヒヌマイトトンボ	三重県伊勢建設事務所宮川下水道室	三重県	2-55
			—	2-54
地域	湿地性の希少種	水源の森と八竜湿地を守る会	愛知県	2-57
			—	2-56



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生態系



沿岸・海洋生態系



植物



哺乳類



鳥類



爬虫類



両生類



魚介類



貝類



昆虫類

都市生態系における保全対象

ニホンリス

ネズミ目リス科

学名 : *Sciurus lis*

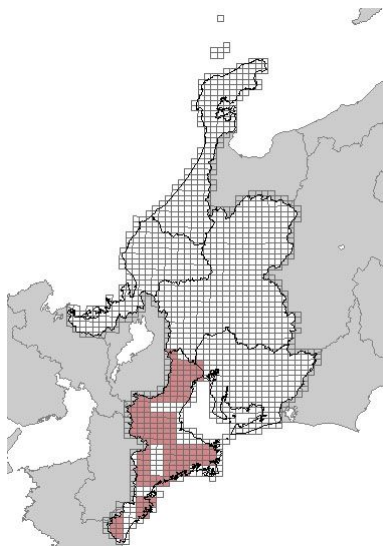
日本固有種

文化財保護法	-	
種の保存法	-	
レッドデータ カテゴリー	環境省	-
	愛知	-
	岐阜	-
	三重	準絶滅危惧 (NT)
	石川	-
	福井	-
その他条例	-	



写真提供：守山リス研究会

中部地域での分布



種の特徴

頭胴長 16~22cm、尾長 13~17cm。雑木交じりの明るい松林を好み、枝伝いに移動して川岸や屋敷地のクルミなどの実を食べる。

問題・課題

- ・ スギ・ヒノキなどの造林による、採食樹の減少が懸念される。
- ・ 道路による生息地の分断や、車両との接触事故等が懸念される。

主な保全活動

- ・ 生息地保全
- ・ 地元住民を中心としたボランティア団体による、自然観察会などの啓発活動



観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎大都会名古屋市近郊の里山や都市公園にまだ現存する野生のニホンリスやムササビを、多様な自然環境を復元する中で繁殖保全するために、下記の活動を実施しています。
- ・ 森の中に給餌台を設置し継続給餌
 - ・ エサとなるアカマツやオニグルミなどの樹木を植樹
 - ・ リスが自活できる環境の整備（巣箱の設置）
- ◎近年は、東谷山と森林公園ゴルフ場間道路の拡充計画に対し、巨大な緑の回廊作りの検討の中で、順次保全活動を進めています。
- ・ 「リス横断注意の道路標識」設置による啓蒙、野生動物の健康と命を守るための「ペット持込ご遠慮の道路標識」設置
 - ・ 森林公園ゴルフ場と協働による、抵抗性アカマツ 1000 本、オニグルミ 500 本の植樹
 - ・ 自動撮影装置や発信機を利用した生息状況調査

工夫点

企業への呼びかけ

地域の企業に対し、CSR 活動※として、各社固有の技術をベースにした技術支援の呼びかけを行っています。

リス研通信の発行

平成 22 年 6 月末現在で、2647 号を発行しました。子供達の質問や関心、ホームページへの問い合わせから出てきた課題や、フィールドからの課題をも含め各国の情報調査をして報告紹介しています。1000 号までを CD 化し会員に有償配布中です。

希少生物保全の仕組み提言

レッドデータリストの対象生物への実質的保全活動の責任所在が不明確であることに危機感を感じ、行政、企業、大学、市民（NPO）の協働の仕組みを提案しました。

専門家・他団体との連携

調査・学習・研究にあたっては、専門家の助言とアドバイスを、他団体とも連携しながら活動を実施してきました。専門家指導：瀬戸口先生、森林総合研究所林先生、都留文科大学今泉先生、井の頭自然文化園、東山動物園、岡山理科大学織田先生他

※CSR (corporate social responsibility) 企業の社会的責任

企業は社会的存在として、最低限の法令遵守や利益貢献といった責任を果たすだけではなく、市民や地域、社会の顕在的・潜在的な要請に応え、より高次の社会貢献や配慮、情報公開や対話を自主的に行うべきであるという考えのこと。

団体紹介

名古屋市近郊の里山等に生息するニホンリスやムササビを、多様な自然環境を復元する中で繁殖保全し環境教育をすることを目的とします。給餌台の設置による継続給餌、エサとなるアカマツやオニグルミの植樹等、リスが自活できる環境を整える活動を子供たちと実施しています。

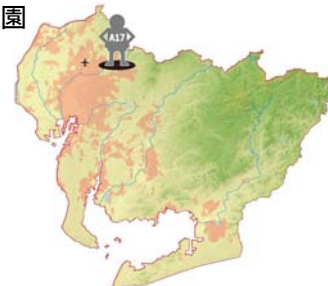
設立年：平成 2 年
 構成員：個人 約 100 名
 URL：http://www.asahi-net.or.jp/~fb4m-iszk/risuken/
 住所：〒463-0008 愛知県名古屋市守山区小幡北 1228
 E-mail：risuken@kzc.biglobe.ne.jp

VOICE

東谷山、森林公園に現存するニホンリスを保護・増殖し、自然のサイクルのなかで生きさせ、一部を絶滅してしまった小幡緑地公園に取り戻したいと思っています！

《活動地域》

名古屋市守山区東谷山、尾張旭市森林公園ゴルフ場、森林公園



巣箱製作の様子



オニグルミ埋設の様子

写真提供：守山リス研究会



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生態系



沿岸・海洋生態系



植物



哺乳類



鳥類



爬虫類



両生類



魚介類



貝類



昆虫類

都市生態系における保全対象

ヒヌマイトトンボ

トンボ目イトトンボ科

学名 : *Mortonagrion hirosei*

日本固有種

文化財保護法	-	
種の保存法	-	
レッドデータ カテゴリ	環境省	絶滅危惧 I 類 (CR+EN)
	愛知	絶滅危惧 I B 類 (EN)
	岐阜	-
	三重	絶滅危惧 I B 類 (EN)
	石川	-
福井	-	
その他条例	-	



写真提供：三重県伊勢建設事務所

中部地域での分布



種の特徴

比較的小規模で周囲には見られない環境を特徴づける種。虫・幼虫とも水位変動のある汽水域ごく一部に残存するヨシ群落に生息。メスは単独で、植物組織内に産卵する。幼虫は汽水よりも淡水で成長が早く、生存率も高い。

問題・課題

- ・ 河口堰、橋脚、護岸などの工事開発による生息地減少が懸念される。
- ・ 生息環境としてのヨシ原の消失が懸念される。

主な保全活動

- ・ 生息地保全
- ・ 地元住民を中心としたボランティア団体による、自然観察会などの啓発活動



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生生態系



沿岸・海洋生態系

M07

三重県伊勢建設事務所宮川下水道室 ヒヌマイトトンボの生息地保全

三重県

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎宮川浄水センター内に「トンボゾーン」という**保全ゾーン**を整備しました。
- ◎下水道浄化センター建設予定地で発見されたヒヌマイトトンボを保全するため生息地の隣に**ヨシを移植し、生息地を創出**しました。
- ◎効果検証のために**モニタリング調査**を継続実施しました。
- ◎**研修会**や**観察会**を実施するなど、啓発活動を行っています。
- ◎**生息数、生息環境**（水質、草（ヨシ）、土壌）について**調査、維持管理**作業を行っています。

《活動地域》
三重県伊勢市大湊町



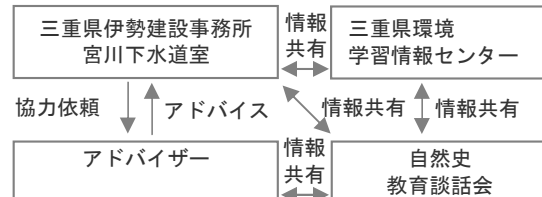
調査の様子

写真提供：三重県伊勢建設事務所

工夫点

有識者に協力を依頼

有識者に環境アドバイザーとして協力を依頼し、生態学環境セミナーを開催し、生態学の知識を習得するとともに、アドバイザー、三重県、委託業務請負者の三者により協議を進めながら活動を行っています。



希少種に関する情報の取り扱いについて

個体数は、事後調査報告書としてインターネットで広く一般に公開しています。ただし、生息地の公開については調査段階であり、希少種保全、及び安全管理上の問題から控えています。

活動成果

☆効果検証のためにモニタリング調査を継続実施したところ、平成18年には個体数は回復し、ミティゲーションが成功しました。

団体紹介

当団体は、三重県庁の出先機関です。伊勢建設事務所宮川下水道室は、宮川流域下水道事業に係わる計画、調査、設計、施工を行うことを担当しています。

設立年：平成10年
 構成員：個人 14名
 住所：〒516-8566 三重県伊勢市勢田町622
 TEL：0596-27-5195 / FAX：0596-27-5256

VOICE

ヒヌマイトトンボの観察会を通じて、地域の方にトンボや自然への関心を高めてもらえると感じます！



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生生態系



沿岸・海洋生態系



植物



哺乳類



鳥類



爬虫類



両生類



魚介類



貝類



昆虫類

都市生態系における保全対象

湿地性の希少種

愛知県名古屋市

八竜湿地の特徴

東海地方の湿地には、東海丘陵要素植物群といわれる世界でも東海地方にしか生育しない貴重な植物が分布する。

希少な野生生物の成育環境及び、地域の里山として、所有者、行政、地域ボランティアなどによって保全活動が実施されている。



シラタマホシクサとミカワシオガマ

写真提供：豊田市自然観察の森

希少な生物

【植 物】シラタマホシクサ、ミミカキグサ、ホザキミミカキグサ、ウンヌケ、トウカイモウセンゴケ、シデコブシ、ミカワシオガマ、マメナシ（以上、東海丘陵要素植物群）、サギソウなど

【両生類】カスミサンショウウオなど

【昆 虫】ヒメタイコウチ、ハッチョウトンボなど

問題・課題

- ・ 湿地枯れ草による富栄養化など、環境が変化していく湿地の永続的な維持管理が課題となっている。

主な保全活動

- ・ 生息地保全（湿地の枯れ草の除去、樹林地の間伐）
- ・ 外来生物の駆除
- ・ ビオトープの保全と自然観察のための環境整備
- ・ 地元住民を中心としたボランティア団体による、自然観察会などの啓発活動



観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

《活動地域》

名古屋市守山区



マメナシの幼木(実生)

写真提供：水源の森と八竜湿地を守る会

取組内容

- ◎八竜湿地の再生のため、市と共に**管理用フェンス、木道、散策路等の整備**を実施しました。
- ◎マメナシは、親木下、その周辺には**実生苗**が多く**周辺の除草**を毎年実施しています。
- ◎シラタマホシクサは**種子が完全に落ちた後、枯草の除草**を行っています。
- ◎湿地に生息する希少な生物：カスミサンショウウオ **産卵場所、産卵数などの調査**を実施し、観察会などで卵塊を見せ、関心を深めています。
- ◎**外来種**（アライグマ、スイレン、イトバモウセンゴケ、オオクチバス、ブルーギル、ミシシippアカミミガメ、コイなど）の**駆除**を行っています。
- ◎**自然観察会**、地元小学校への**自然体験学習**を実施しています。
- ◎**パンフレット、ハンドブック、会報(毎月)**などの広報の展開、及び、**学会誌への投稿、講演会**を行っています。

工夫点

希少種に関する情報の取り扱いについて

カスミサンショウウオの生息は当初非公開としていましたが、理解を深めるため、観察会で卵塊を紹介しています。ただし、産卵場所、生育場所は非公開としています。重要種の樹木については、観察会で説明していますが、草本のラン株については、公開を控えています。

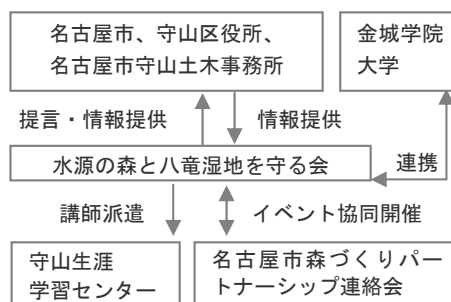
人材育成

人材育成のための講座（8コマ）を実施しています。

他の団体や行政との連携

区内で自然に係わる団体（9団体）と区の町づくり推進課と毎月1回情報を提供しあい、共同で自然めぐりのスタンプラリーを実施しています。

また自然観察会は、守山土木事務所、名古屋市みどりの協会と共催し、公演会を行う際には、金城学院大学に会場を無償で提供していただいています。



団体紹介

八竜湿地は、かつて開発の危機にさらされていましたが、隣接する大学を中心に貴重な湿地を残す保全運動が起こり、大学の土地交換という手段で保全された場所です。その後、緑地内の湿地は放置され、18年後、自然観察指導員6名で湿地を再生させるために会を立ち上げました。名古屋市と共に、フェンスや木道、散策路を設置し、以後、管理保全活動を行ってきました。

VOICE

放置され、遷移しつつあった湿地を1970年代まで回復することを目標に、活動を続けています。除去が難しい外来種のスイレンですが、根気よく続けてあとひと息です！

設立年：平成5年（平成11年名古屋市愛護会認定）

構成員：個人 40名

住所：〒463-0012 愛知県名古屋市守山区茶臼前14-34-301

TEL：052-793-3209 / FAX：052-793-3209



中部地域の 陸水生生態系における希少種保全活動

中部地域は、上流域の急峻な溪流から中流部の河岸段丘や交互砂州、そして下流部のヨシ原や干潟など多様な環境を形成する河川や、海岸沿いの潟湖、また伊勢湾を取り囲むように分布する特異的な低湿地など、多様な陸水環境を有します。

■ 陸水生生態系における保全対象

	保全対象	活動団体	地域	頁			
魚介類	スナヤツメ		—	2-59			
		矢田・庄内川をきれいにする会	愛知県	2-60			
	イタセンバラ		—	—	2-61		
		東海タナゴ研究会 岐阜県世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ	三重県 岐阜県	2-62 2-63			
	ヤマメ(サクラマス)		—	—	2-64		
		永平寺川にサケ・サクラマスの遡上を実現する会 サクラマス・レストレーション	福井県 福井県	2-65 2-66			
	ハリヨ		—	—	2-67		
		池田町ハリヨを守る会	岐阜県	—	2-68		
		大垣市環境市民会議	岐阜県	—	2-69		
		加賀野名水保存会 はりんこネットワーク	岐阜県 岐阜県	— —	2-70 2-71		
	イトヨ(陸封型)		—	—	2-72		
		大野イトヨの会	福井県	—	2-73		
	トミヨ		—	—	2-74		
		治佐川とトミヨを守る会 美川自然人クラブ	福井県 石川県	— —	2-75 2-76		
	ネコギギ		—	—	2-77		
		碧南海浜水族館	愛知県	—	2-78		
		鈴鹿高等学校自然科学部 野登清友会	三重県 三重県	— —	2-79 2-80		
ホトケドジョウ		—	—	2-81			
メダカ		愛知工業大学 都市環境学科 河川・環境研究室	愛知県	—	2-82		
		—	—	—	2-83		
ヤリタナゴ		名古屋市東山動植物園	愛知県	—	2-84		
		—	—	—	2-85		
地域	湿地性の希少種	水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座	三重県	—	2-86		
			—	—	2-87		
		金城学院大学 白玉星草と八丁トンボを守る島田湿地の会 NPO法人 ウェットランド中池見	愛知県 愛知県 福井県	— — —	2-88 2-89 2-90		
	三方五湖周辺の希少種		—	—	—	2-91	
		若狭三方縄文博物館	福井県	—	—	2-92	
	中部地域の水生生物		—	—	—	2-93	
			名古屋水辺研究会	愛知県	—	2-94	
			三重県立四日市西高校自然研究会	三重県	—	—	2-95
			NPO法人 流域環境保全ネットワーク	三重県	—	—	2-96
			NPO法人 リバーキーパー・ジャパン	岐阜県	—	—	2-97
		福井県両生爬虫類研究会	福井県	—	—	2-98	



植物



哺乳類



鳥類



爬虫類



両生類



魚介類



貝類



昆虫類

陸水生生態系における保全対象

スナヤツメ

ヤツメウナギ目ヤツメウナギ科

学名：*Acheilognathus longipinnis*

日本固有種

文化財保護法	-	
種の保存法	-	
レッドデータ カテゴリ	環境省	南方種： 絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 北方種： 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
	愛知	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
	岐阜	南方種： 準絶滅危惧 (準) 北方種： 絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
	三重	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
	石川	-
	福井	県域絶滅危惧Ⅱ類
その他条例	-	



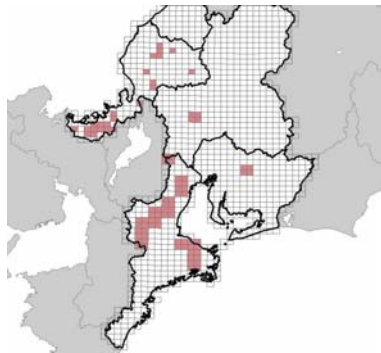
写真提供：八千代エンジニアリング

種の特徴

幼生は約 100~150mm に達すると変態を行う。成熟した個体の最大全長は約 150mm。水質の良い上・中流域の砂泥底に生息する底生魚。幼生期は藻類、有機物食、成体期は餌を摂らない。

遺伝的に隔離された北方種と南方種に分かれ、交雑個体が存在しない。

中部地域での分布



問題・課題

- ・ 河川開発によるワンド等育成場の喪失、土砂流出による産卵床となるべき礫底の埋没採取、魚食性外来魚の捕食によって個体数が減少している。
- ・ 水質汚濁による生息環境の悪化が懸念される。

主な保全活動

- ・ 生息地保全
- ・ 魚食性外来魚の駆除
- ・ 地元住民を中心としたボランティア団体による、自然観察会などの啓発活動



観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎当地近隣では区画整理が進んでいますが、名古屋都市センターの平成12年度 まちづくり活動助成団体に選ばれ、才井戸流を開発と調和させて保全するため、**ビオトープの観察会、生物調査、水質浄化**を実施しています。
- ◎庄内川水系に**アユ遡上100万匹大作戦**イベントを実施し、普及啓発に努めています。
- ◎第3回学生環境サミット等での**講演**を実施しました。
- ◎ウォーキングイベントを主催し、**矢田川環境マップ**を作成しました。

工夫点

水質浄化の手法

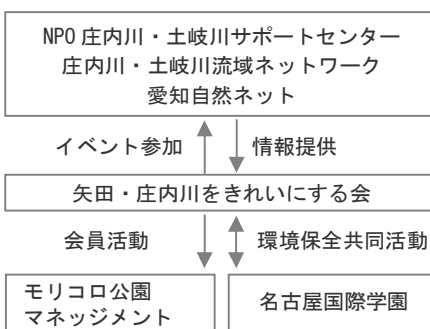
対象としている才井戸流れは、湧水池ですが生活排水が流されています。排水口にビオトープサンド（吸着作用・バクテリア育成作用のある多孔質の素材）に微生物を吸着させたものを設置し、水の浄化を行っています。

他団体との連携

名古屋国際学園などの**大学と連携**し、保全活動を続けるほか、他団体へのイベント参加を行っています。

活動成果

☆当会の活動は、「日本水大賞」及び「環境大臣賞」を受賞致しました。



《活動地域》

名古屋市守山区
中志段味才井戸流れ



魚釣り大会イベントの様子



魚釣り大会 表彰

矢田川環境マップ作成
(矢田川ウォーキング)

写真提供：
矢田・庄内川をきれいにする会

団体紹介

庄内川水系の汚染源に対し、きれいで快適な生活環境をとり戻し、次代へ引きつぐことを目的としています。河川の浄化を訴えて35年間魚釣り大会を実施し、アユ遡上100万匹大作戦、川の健康診断として外来種を含む生き物調査・水質検査、名古屋市有数の湧水地である才井戸流れの環境保全活動、ホテル観察会等を実施しています。

設立年：昭和50年
構成員：個人 103名
URL：<http://www10.atpages.jp/kireinisurukai/hara1.html>
住所：〒463-0080 愛知県名古屋市守山区川西1-1304
E-mail：cs6ibbvr@na.commufa.jp
TEL：052-794-3876 / FAX：052-796-2344

VOICE

庄内川水系の汚染源に対し、きれいで快適な生活環境をとり戻し、次代へ引きつぐことを目指します。活動36年目です！



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生態系



沿岸・海洋生態系



植物



哺乳類



鳥類



爬虫類



両生類



魚介類



貝類



昆虫類

陸水生態系における保全対象

イタセンパラ

コイ目コイ科

学名：*Acheilognathus longipinnis*

日本固有種

文化財保護法		天然記念物
種の保存法		国内希少野生動植物種
カテゴリー レッドデータ	環境省	絶滅危惧 I A 類 (CR)
	愛知	絶滅危惧 I A 類 (CR)
	岐阜	絶滅危惧 I 類 (I)
	三重	-
	石川	-
	福井	-
その他条例		-



写真提供：岐阜県世界淡水魚園水族館

中部地域での分布



※岐阜県は非公開

種の特徴

水生植物の繁茂する流れの緩やかな水域または河川のワンド等に生息。ドブガイなどイシガイ科の二枚貝に産卵する。仔魚は動物プランクトン食であるが、成長に従い付着藻類、植物プランクトン食に移行する。

問題・課題

- ・ 護岸工事、ワンドの埋め立て、河口堰建設等の河川開発、生活排水等による水質汚濁の影響による、生息環境の悪化が懸念される。
- ・ ブラックバスやブルーギルなどの魚食性外来魚による捕食、採取による個体数の減少が懸念される。
- ・ タイリクバラタナゴの侵入による帰化競合が懸念される。

主な保全活動

- ・ 生息域外保全（保護増殖事業）
- ・ 魚食性外来魚の駆除
- ・ 地元住民を中心としたボランティア団体による、自然観察会などの啓発活動

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎南濃町は本流以外のイタセンパラ、ウシモツゴ最後の生息地であったと考えており、**再発見**（あるいは**再導入**）とその後の**復元**をめざして活動しています。
- ◎土地改良区と協同で、周辺調査や土地改良事業後の魚類の存続を保证するため、**魚道実験**や**堰上げ実験**などの技術開発や土地改良事業での**ビオトープ造成**への協力を行っています。
- ◎ビオトープ完成後の**管理主体の構築**を目的とした、**講演会**や**観察会**の開催などを実施しています。

工夫点

他団体との連携

自治体、農業団体、地元企業と連携した活動となるよう心掛けています。

地域主体の運営を目指して

私達は、モニタリングや管理の提案や枠組みなど、専門性をもったアドバイザーとして活動し、管理については、地域主体で実施する持続的な運営を目指しています。

他団体や地域との良好な関係づくり

野外に自身の団体が管理する特定の場所をもたず、あくまでも専門性をもった「風の人」として地域に提案し、一緒に汗を流すことで信頼を得ていると感じます。また、団体の発展ではなく、生物多様性保全を目的としていることが、伝わるよう注意しています。

地域コミュニケーションの場づくり

活動に併せて、地元の方々による炊き出しなどを行ってもらうことで、保全と外来種の駆除活動が、地域のコミュニケーションの場としても活用されています。

《活動地域》

岐阜県海津市南濃町



他団体との取り組み

- ・生きもの観察
- ・在来種放流会
- ・希少種調査活動
- ・ビオトープづくり
- ・池干し活動
- ・希少種増殖実験
- ・希少種遺伝子解析実験
- ・講師派遣

連携団体：

亀山市、鈴鹿川うお座、亀山の自然に親しむ会、菰野町みどり郷の会、下多度へら倶楽部、南濃町下池西部土地改良区、菰野町、田光区、朝上小学校、田光資源と環境を守る会、南濃町下池西部土地改良区、ぼてじゃこトラスト、琵琶湖博物館、四日市市環境学習センターなど

団体紹介

メンバーは学生や若い研究者が中心です。地域住民による生物多様性保全を目標として提案・活動を行いながら、メンバーそれぞれが専門性を磨き、地域コーディネーターとして成長していくことを目指しています。持続可能性をキーワードに、身近な自然を軸としたまちづくりへの提案も行っています。

設立年：平成16年

構成員：個人23名

住所：〒510-1231 三重県三重郡菰野町神森1029
淡水魚研究センター内URL：<http://toukaitanago.web.fc2.com/about/tokai.html>E-mail：kazetoge@gmail.com

TEL：090-3726-3514 / FAX 059-393-5795

VOICE

生態学的な視点から管理方法を明らかにすると同時に、地域での保全の枠組みをどうつくっていくか、社会科学的な視点からの調査を行っています！



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生生態系



沿岸・海洋生態系

観察・調査研究

普及啓発

政策提言

取組内容

- ◎平成18年に木曾川に生息するイタセンパラについて、**生息域外保全の必要性を環境省に提言**しました。
- ◎研究者・各自治体・環境省・国土交通省・木曾川上流河川事務所・自然共生研究センターと議論を重ね、平成22年度より環境省の請負事業として、**生息域外保全**を開始し、生息域内保全に関しては、木曾川イタセンパラ保護協議会に**オブザーバー**として**参画**しています。

《活動地域》
岐阜県岐阜市水族館内



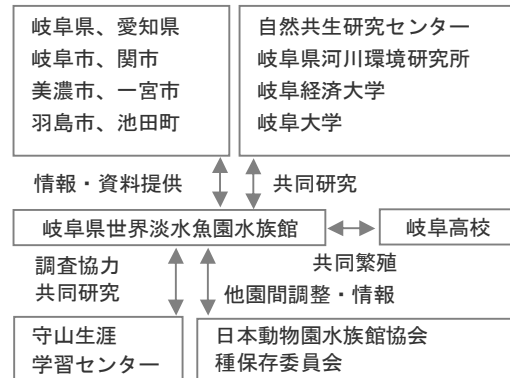
工夫点

他団体との連携

複数組織による取り組みにおいては、各機関の組織としての限界を理解し、無理な強要はせず、成果は皆で共有する意識を大切にしています。

希少種に関する情報の取り扱いについて

生息場所や数情報は、積極的に公表していません。また、公表する際は情報を精査しています。



団体紹介

岐阜県の自然環境、河川環境を楽しく学び、考える環境学習実践の場として、また、地域交流の拠点となることを目的として設立されました。イタセンパラの他にも、岐阜県河川環境研究所、関市・美濃市、市民団体等で組織された「ウシモツゴを守る会」の活動として、親魚交換会開催、放流池生息調査、放流予定地選定、放流、外来魚駆除を行っています。

設立年 : 平成16年
 URL : <http://www.aquatotto.com>
 住所 : 〒501-6021 岐阜県各務原市川島笠田町1453
 河川環境楽園内
 E-mail : HPの問い合わせフォームより連絡可能
 TEL : 0586-89-8200(代) / FAX : 0586-89-8201(代)

VOICE

岐阜県の自然環境、河川環境を楽しく学び、考える環境学習実践の場として、また、地域交流の拠点となることを目的として活動しています！

陸水生態系における保全対象 サクラマス(ヤマメ)

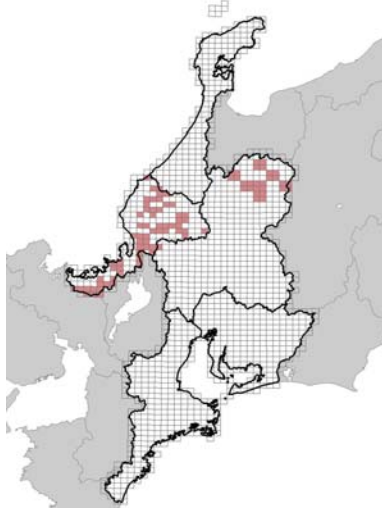
サケ目サケ科
学名 : *Oncorhynchus masou masou*

文化財保護法	-	
種の保存法	-	
レッドデータ カテゴリ	環境省	準絶滅危惧 (NT)
	愛知	-
	岐阜	情報不足 (不足)
	三重	-
	石川	-
福井	県域絶滅危惧Ⅱ類	
その他条例	-	



写真提供 : 岐阜県世界淡水魚園水族館

中部地域での分布



種の特徴

川の上流などの冷水域に生息する。生息上限温度は 24℃。2 年魚でも全長は 20cm 程にしかならないが、ダム湖などに下り、再び遡上してくるものは 40cm に達するものもある。

問題・課題

- ・ 採取、魚食性外来魚の捕食による個体減少が懸念される。
- ・ 開発によるワンド等の生息環境の消失や、河川連続性の分断による生息環境の悪化が懸念される。

主な保全活動

- ・ 生息地保全
- ・ 魚食性外来魚の駆除
- ・ 地元住民を中心としたボランティア団体による、自然観察会などの啓発活動

F03

永平寺川にサケ・サクラマスの上流を実現する会 サクラマス(ヤマメ)の生息地保全

福井県

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎サクラマスについて、**個体数調査**（秋の上流の時期）、**稚魚の観察**を行っています。
- ◎**産卵場所**（河床）の**造成**、**河道の整備**（草刈り、上流障害物の移動・除去）を実施しています。
- ◎子どもの親水活動として、**観察会**や**釣り大会**を開催しています。
- ◎**パンフレット**作成などの啓発活動を行っています。

工夫点

👉地域経済への貢献

活動の目標のひとつとして、地域経済への貢献を掲げています。九頭竜川での釣りイベントを通して、多くの人が川に親しめる機会をつくるだけでなく、海外からの観光客を誘致する活動も今後、計画していきたいと思っています。

活動成果

- ☆H22年に福井県の事業によって、魚道が3基完成しました。
- ☆活動が地元NHKで取り上げられ、活動の輪が広がっています。

《活動地域》

永平寺町永平寺川、九頭竜川にそそぐ地点より上流 500m以内地域



団体紹介

昔のような魚が多く生息し、サケやサクラマスが上流する川を取り戻したいという思いから、魚道の設置を県に働きかけ、平成22年6月までに魚道が3基完成しました。また、稚魚の放流や産卵場所の造成、河道の整備（草刈り、石の移動）を行うとともに、子どもの親水活動として、観察会や釣り大会を実施しています。

設立年：平成20年
 構成員：個人 26名
 住所：〒910-1212 吉田郡永平寺町東古町7-1-1
 TEL：0776-63-2194

VOICE

放流ではなく、自然の河川で産卵をしてほしい、成長して再び古里へ帰って子孫を増やしてほしい。そのような自然のサイクルを今一度元に戻す努力をしています！

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎九頭竜川においてサクラマスが自然再生産するための保全活動として、サクラマスの産卵場造成、河川工事前の卵の移動、河川整備後のモニタリングとフォローを実施しています。
- ◎子ども達との河川環境学習や、普及啓発を兼ねたフィッシングスクールを開催しています。
- ◎親魚の特別採捕協力を行っています。

工夫点

産卵場所の造成

川は増水や河川整備などで形状の変化が大きいため、たえず現場に立ち、状況をよく観察したうえで、産卵場所の予測と造成計画を実施しています。またモニタリングの結果を次年度に活かしています。

密漁への対策

禁漁期や禁漁区への密漁が絶えませんでした。メディアとの連携や小学校との活動を通じて啓発活動を実施し、サクラマスへの認識と活動への認知を高めました。その結果、サクラマスを見守る目が増え、密漁はおこなれなくなっています。

活動成果

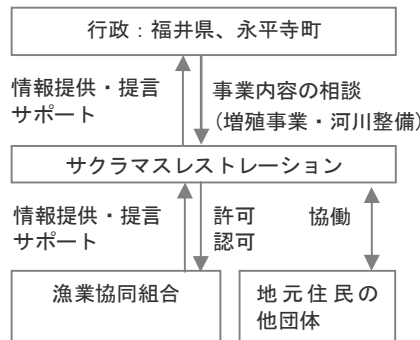
☆会の前身である「サクラマス・アンリミテッド」では、17年で総数40万尾のサクラマス稚魚放流を実施し、回帰数が増加しました。※その後、福井県の放流事業が開始されました。
☆造成した産卵場でサクラマスの産卵・孵化・浮上が確認されました。

《活動地域》

吉田郡永平寺町九頭竜川（支流）永平寺川



交流・連携図



団体紹介

九頭竜川においてサクラマスが自然再生産するための保全活動を実施しており、全国から九頭竜川に足を運ぶ熱き想いのフライ・フィッシャーたちが、活動の中心となっています。活動の内容としては、産卵場の造成、工事前の卵の移動、工事後のモニタリング、河川環境学習の実施や普及啓発を兼ねたフィッシングスクールの開催などを行っています。

設立年 : 平成5年
 構成員 : 個人 30名
 URL : <http://sakuramasu-r.org>
 住所 : 〒910-1142 福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島 34-3-7
 E-mail : nami@amaya.ac.jp
 TEL : 090-8095-3273 / FAX : 0776-61-3133

VOICE

フィッシャー自ら立ち上がり、活動続けてきました。多様な自然環境を再生させようという試みが、全国に伝播していくことを願います！



植物



哺乳類



鳥類



爬虫類



両生類



魚介類



貝類



昆虫類

陸水生態系における保全対象

ハリヨ

トゲウオ目トゲウオ科

学名：*Gasterosteus microcephalus*

日本固有種

文化財保護法	-	
種の保存法	-	
レッドデータ カテゴリ	環境省	絶滅危惧 I A 類 (CR)
	愛知	-
	岐阜	絶滅危惧 I 類 (I)
	三重	絶滅 (EX)
	石川	-
	福井	-
その他条例	岐阜県希少野生動植物保護条例指定、岐阜県天然記念物・西之川町のハリヨ、大垣市天然記念物曾根町・矢道町のハリヨ	



写真提供：岐阜県世界淡水魚園水族館

中部地域での分布



※岐阜県は非公開

種の特徴

全長 5cm 前後の小魚で、最大 7cm 程度。湧水池とその流水路に生息する。清浄な湧水のあることは生息環境の必須条件で、10~18℃の低水温を好み、水温 20℃を超える場所では生息できない。

問題・課題

- ・ 地下水位の低下による湧水の減少、開発等による生息環境の消失が懸念される。
- ・ 開発による湧水地や川の汚染による生息環境の悪化が懸念される。

主な保全活動

- ・ 生息地保全
- ・ 魚食性外来魚の駆除
- ・ 地元住民を中心としたボランティア団体による、自然観察会などの啓発活動

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

《活動地域》

大垣市内

取組内容

- ◎環境市民会議の所属団体である「西之川ハリヨ保存会」「加賀野名水保存会」などにより、保護活動、協働清掃や観察会が実施されています。
- ◎学校、PTA、町内会、各種団体、企業へ向けた、環境出前講座、研修会の受け入れを実施しています。
- ◎地域イベント、市民会議への参加と提言を行っています。



工夫点

他団体との連携

大垣環境市民会議は、市民と事業者、行政団体が連携して、環境問題に取り組むことを目的に設立されました。現在、市民団体部会 14 団体、事業者部会登録企業 34 社が連携して活動しています。

地域との連携

清掃活動や座談会など、子供会の協力を得て共に活動することは、次世代への環境教育と、ボランティア人材の確保の両面から効果が期待できます。

企業への呼びかけ

地域に密着した公共性の高い企業スペースで、実物を展示しています。

大垣市環境市民会議

- ・西之川ハリヨ保存会
- ・大垣緑化推進協議会
- ・加賀野名水保存会
- ・日本野鳥の会岐阜県ブロック西濃支部
- ・NPOまち創り
- ・南市橋杭瀬川のホタルを守る会
- ・特定非営利活動法人 緑の風
- ・大垣市食生活改善協議会
- ・大垣市農業生活改善グループ連絡協議会
- ・大垣市くらしのセミナー
- ・大垣市生活学校
- ・大垣市連合婦人会
- ・日本赤十字奉仕団
- ・特定非営利活動法人 大垣レクリエーション協会 など 14 団体・企業 35 社

団体紹介

「ハリンコが泳ぎ、ホタルが舞う」水都大垣の実現は、市民と事業者、行政のそれぞれの大きな努力と協力がなければ不可能です。環境市民会議は、大垣の環境保全を考え行動する全ての個人、団体と事業者、行政が協働する組織として結成されたものです。

設立年 : 平成 13 年
 構成員 : 14 団体 企業 35 社
 URL : <http://www15.ocn.ne.jp/~eco-sta/index.html>
 住所 : 〒503-0911 岐阜県大垣市室本町 3-4 エコステジ おおがき
 E-mail : eco-sta@smile.ocn.ne.jp
 TEL : 0584-82-1761 / FAX : 058-47-5422

VOICE

大垣は豊富な地下水に恵まれています。豊かできれいな環境を維持するには、そこに生活し事業活動を営む側からの、絶えざる意識的な保全活動が欠かせません！

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎水路に自噴水を引き込んだ周囲 32m、面積 60 m²、水深 1.2 m の池を造成し、移植保護されていた 70 匹のハリヨを放流。他団体と種の交換を行いながら、生息域と種の保全を行っています。
- ◎月 2 回の水路・池の清掃、バイカモの植え付けを実施しています。
- ◎子ども会での座談会や、地域での交流会、見学会を行っています。
- ◎パンフレットの作成と配布による普及啓発を行っています。
- ◎水路周辺の清掃時に、アメリカザリガニの駆除を実施しています。
駆除方法：竹筒を川に沈め、入り込んだところを捕獲する漁具を使用して捕獲

《活動地域》

大垣市加賀野一丁目
加賀野八幡神社西水路



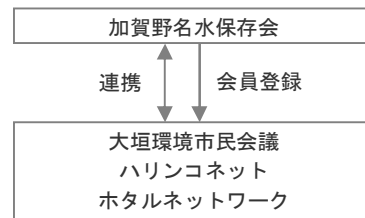
工夫点

種の保全への取り組み

移植保護されている場所以外にも、池を造成し生息させています。また、他団体と連携し、ハリヨの交換を行っています。

他団体との連携

大垣環境市民会議、ハリコネット、ホタルネットワークへの会員登録をし、連携・協力しています。



活動成果

- ☆平成 3 年より神社水路に放流を実施しましたが、その後、放流場所から 100m 以上離れた水路で個体を確認できるようになりました。
- ☆活動が評価され「平成 17 年 環境大臣表彰」を受賞しました。

団体紹介

「平成の名水百選」に認定された加賀野八幡神社井戸の湧き水を利用し、神社西の水路と、周辺に新設した池（ハリヨ池）に絶滅の危機にさらされていたハリヨが放流されました。このハリヨを守るため、毎月 2 回の清掃活動や、保護、育成活動を実施しています。また、子供会との座談会や清掃活動を行うなど、普及教育活動も行っています。

VOICE

加賀野八幡神社井戸の湧き水を利用した水路では、ハリヨの保護のほか、ゲンジボタルの養殖、放流を行っています！

設立年：昭和 61 年
構成員：個人 12 名
住所：〒503-0006 岐阜県大垣市加賀野 1-600
TEL：0584-81-5163 / FAX：0584-81-3678



観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎ハリヨの生息調査を実施しています。
- ◎G型魚巢ブロックの砂入れ、カワウの防鳥網の設置、清水池（ハリヨ池）、中川上流部の清掃（年5回）、中川のヘドロ除去（年1回など、生息地整備と清掃を行っています）。
- ◎地下水の水量、密漁などを日常的に監視しています。
- ◎町内小、中学校の総合学習や視察者への普及教育活動を行っています。

工夫点

行政との連携

行政と連携し、中川中流部の農業用水堰の開閉時に、ハリヨ保全のため、清水池の水量調整を行っています。

地域一体の活動

有志で始めた活動ですが、現在では、池田町上八幡区的全世帯の団体として活動しています。区民全員が年1回以上、清掃活動に参加するなど、一体となって水環境とハリヨの保全に努めています。

活動成果

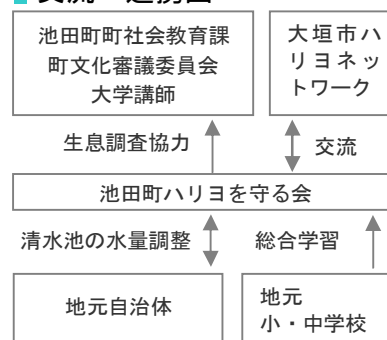
- ☆昭和41年に「岐阜県天然記念物」に指定されて以後活動を継続し、平成15年に「岐阜県野生生物保護区」に指定されました。
- ☆平成18年に「ぎふふるさとの水辺」として、岐阜県より認定証を交付されました。

《活動地域》

岐阜県揖斐郡池田町八幡中川源流部（清水池）及び中川



交流・連携図



団体紹介

昔からいるハリヨを地域ぐるみで守り、豊かな環境を後世に伝えることを目的に、中川源流部の清水池や中川上流部において、除草やヘドロの除去等の清掃活動、ハリヨの生息調査、などを実施しています。また、町内の小・中学校の校外体験学習への協力を行うなど、普及教育活動にも取り組んでいます。

VOICE

設立年：昭和42年
構成員：池上町上八幡区715世帯
住所：〒503-2426 岐阜県揖斐郡池田町八幡1352-1
TEL：0585-45-2864 / FAX：0585-45-8765

有志で保護活動を開始し、昭和60年頃より、区民全世帯の保護団体になりました。全区民が年1回以上の清掃活動に参加しています！

種の保全

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎行政、各地自治会、学校 PTA 協力のもとでの湧水池の復元を行っています。
- ◎環境読本、記念誌の発行、DVD 製作、パンフレット作成・配布などの広報活動を行っています。
- ◎表彰やシンポジウム実施のサポートを行っています。
- ◎小学校での水槽保全を推進し、各地の種が絶えないよう連携を行っています。
- ◎ザリガニ釣りなどの外来種対策を実施しています。

《活動地域》

岐阜県大垣市、本巣市、海津市、瑞穂市、池田町、神戸町、垂井町



工夫点

地域との連携

行政、自治会、学校 PTA、企業、マスコミ協力のもと、遊水池の復元と普及啓発が行われおり、当会ネットワークを利用していただきながら、その一員となって協力しています。

水槽保全で種の絶滅を防ぐ

小学校等での水槽保全を推進し、各地の種が絶えないよう連携を行っています。また、種の保存は慎重に行っており、推進委員の許可なく移動できないようにしています。

活動成果

☆環境教育の副読本（「ふるさとの魚 ハリヨ」3 万部発行）によって普及活動を続け、社会認知が広がりました。現在では、小学校の教科書にもハリヨが取り上げられています。

団体紹介

希少種ハリヨ保存のため、ネットワーク組織の力で、市民に啓発活動を行うことを目的として設立されました。行政、各地自治会、学校 PTA 協力のもとでの湧水池の復元や、企業やマスコミの協力による各地での表彰やシンポジウムの実施、環境読本発行などの広報活動で応援しています。

設立年 : 平成 3 年
 構成員 : 個人 12 名、 団体 23 団体
 住所 : 〒503-0932 岐阜県大垣市本今町 237
 E-mail : kawaaisakusen@nifty.com
 TEL : 0584-78-2917 / FAX : 0584-74-8555

VOICE

希少種ハリヨ保存のため、ネットワーク組織の力で、市民に啓発活動を行うことを目的として設立されました。今年は、DVD 制作や記念誌発行も予定しています！



植物



哺乳類



鳥類



爬虫類



両生類



魚介類



貝類



昆虫類

陸水生態系における保全対象

イトヨ (陸封型)

トゲウオ目トゲウオ科

学名 : *Gasterosteus aculeatus*

日本固有種

文化財保護法	-	
種の保存法	-	
レッドデータ カテゴリ	環境省	地域個体群 (LP)
	愛知	-
	岐阜	-
	三重	-
	石川	-
	福井	県域絶滅危惧 I 類
その他条例	-	



写真提供 : 八千代エンジニアリング

中部地域での分布



種の特徴

湧水池とその流水路に生息。全長は 10cm ほどで、体は左右に平たい。若い個体は群れで生活し、小型の甲殻類などを捕食して成長するが、婚姻色を発現させたオスは縄張りを作る。特殊な環境を位置づける種。

問題・課題

- ・ 地下水位の低下による湧水の減少、開発等による生息環境の消失が懸念される。

主な保全活動

- ・ 生息地保全
- ・ 魚食性外来魚の駆除
- ・ 地元住民を中心としたボランティア団体による、自然観察会などの啓発活動



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生態系



沿岸・海洋生態系



F04

大野イトヨの会
イトヨの保全

福井県

生息地保全

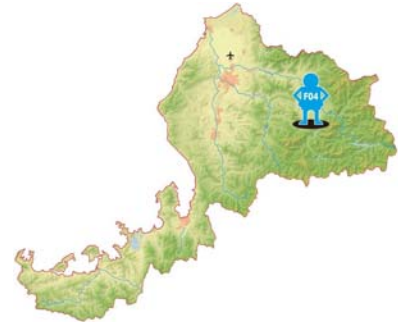
普及啓発

取組内容

- ◎会員やその他関係施設へ、イトヨ通信の発行を行っています。
- ◎イトヨの会研修旅行、イトヨの里館長の講演会への参加など保護啓発活動を実施しています。
- ◎大野市教育委員会本願清水イトヨの里のサポート（住民参加のイベント共催など）を行っています。

《活動地域》

大野市糸魚町



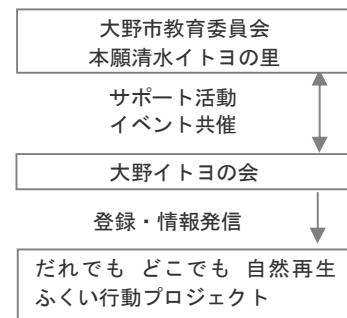
工夫点

他団体との連携

「だれでも どこでも 自然再生 ふくい行動プロジェクト」に登録し、情報を発信しています。

希少種に関する情報の取り扱いについて

生息場所は、詳細な生場所が特定できないように、配慮しています。



活動成果

- ☆結成により、イトヨ保護について地域の関心と意欲が高まり、平成10年度からの本願清水イトヨの里の設立に結びつきました。
- ☆地域住民が参加できるイベントを本願清水イトヨの里と共催することによって、市民のイトヨ保護への理解と関心が深まっていると感じます。

団体紹介

湧水池である本願清水は陸封型イトヨ生息地の南限として国の天然記念物に指定されています。当会は、行政や市民団体、地域住民などと協力し、このイトヨの保全を通して住みよい環境づくりを推進することを目的として、イトヨや水源の保全活動、シンポジウム等の普及啓発活動を実施しています。

設立年 : 平成8年
 構成員 : 個人 117名
 住所 : 〒912-0054 福井県大野市糸魚町 8-44
 大野イトヨの会事務局
 TEL : 0779-65-5104 / FAX : 0779-65-5104

VOICE

大野市民及び、イトヨに関係する団体が、イトヨと水源を守ることを通して、住みよい環境づくりを推進することを目的としています。将来的には、市民の会として独立運営を目指します！



植物



哺乳類



鳥類



爬虫類



両生類



魚介類



貝類



昆虫類

陸水生態系における保全対象

トミヨ

トゲウオ目トゲウオ科

学名：*Pungitius sinensis*

日本固有種

文化財保護法	-	
種の保存法	-	
レッドデータ カテゴリー	環境省	-
	愛知	-
	岐阜	-
	三重	-
	石川	絶滅危惧Ⅰ類
福井	県域絶滅危惧Ⅰ類	
その他条例	石川県希少野生生物	



写真提供：美川自然人クラブ

中部地域での分布



種の特徴

海水、汽水、淡水に生息するが、きれいな冷水（15度前後）を好むため、水温の低い湧水池やそれに程近い流域などの淡水環境に生息している。

問題・課題

- ・ 地下水位の低下による湧水の減少、開発等による生息環境の消失が懸念される。

主な保全活動

- ・ 生息地保全
- ・ 魚食性外来魚の駆除
- ・ 地元住民を中心としたボランティア団体による、自然観察会などの啓発活動



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生態系



沿岸・海洋生態系

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎ トミヨの保全は生息場所を確保することが重要であるため。定期的に開催している行事において観察会や生息地の清掃を行っています。
- ◎ 行政に働きかけを行い、平成 11 年に美川町と石川県が協力して「トミヨ増殖池」を安産川沿いに造成しました。
- ◎ 外来植物の採取・除去を実施しています。
対象種：オオカナダモ、コカナダモ
駆除方法：人力での採取・除去

工夫点

地域、行政との連携

町、県などの行政や、地域の農家への働きかけを行い、連携することで、整備や保護条例の制定を実施しました。

他団体との連携

北陸地方にはトゲウオ類の保全に関わる団体がいくつかが存在し、情報交換等、交流を行っています。

資金調達

生きものキッズレンジャーへの観察指導等講師を行って資金を得ています

活動成果

- ☆ 行政や地域の農家と協議を重ね、平成 15 年にはトミヨが「美川町天然記念物」に指定され、翌平成 16 年には安産川（500m 区間）が「石川県天然記念物（トミヨ生息地）」に指定されました。
- ☆ 除去により、コカナダモの生育が減少しています。

《活動地域》

やすまる
白山市美川地区安産川



観察会の様子

団体紹介

平成 5 年に美川の町おこしからスタートした「はりんこ塾」から、トミヨの保全を始めとした自然保護に関する部分が独立しました。美川町の清流・湧水のシンボルであるトミヨ（はりんこ）を保護し、美川町の身近な自然と手取川河口流域の生態系を守り、住みよく快適で明るい地域を作るために行動することを目的とするまちづくり団体です。

設立年：平成 16 年
構成員：個人 50 名
住所：〒929-0204 石川県白山市平加町 143
TEL：076-278-3811

VOICE

湧水の象徴種であるトミヨを守ることが、水の街美川を守ることに繋がると信じて、活動を続けていきます！



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生生態系



沿岸・海洋生態系

F06

治佐川とトミヨを守る会 トミヨの生息地保全

福井県

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

《活動地域》
越前市上真柄町治佐川

取組内容

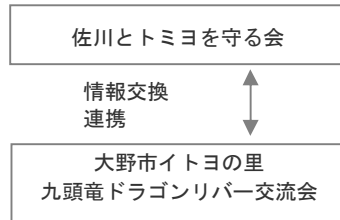
- ◎石積み護岸復元する等、治佐川の清流を保全し、トミヨの生息地の復元・保全を行っています。
- ◎イベント等を通じて、川や環境保全についての教育活動を実施しています。



工夫点

他団体との連携

大野市イトヨの里、九頭竜ドラゴンリバー交流会などと連携して活動しています。



活動成果

☆活動が評価され「平成 11 年 環境庁水環境賞」を受賞しました。

団体紹介

湧水起源の治佐川は、トミヨの生息地の南限となっています。この清流を保全し、トミヨやバイカモをはじめとする様々な生物が末永く生息することを目的に、河川の清掃や管理、湧水の枯渇対策のほか、地域住民に対しての研修会等の普及啓発活動を実施しています。

設立年 : 平成 4 年
 構成員 : 個人 63 名
 URL : <http://www.ajimano.net/jisakawa.htm>
 住所 : 〒915-0011 越前市上真柄町 44-6
 E-mail : jisagawa@cotec-inc.co.jp
 TEL : 0778-27-1507

VOICE

貴重なハリウオ、トミヨが生息し、梅花藻が生育する治佐川を、守り続けていくことを目的に結成されました！



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生態系



沿岸・海洋生態系



植物



哺乳類



鳥類



爬虫類



両生類



魚介類



貝類



昆虫類

陸水生態系における保全対象

ネコギギ

ナマズ目ギギ科

学名 : *Pseudobagrus ichikawai*

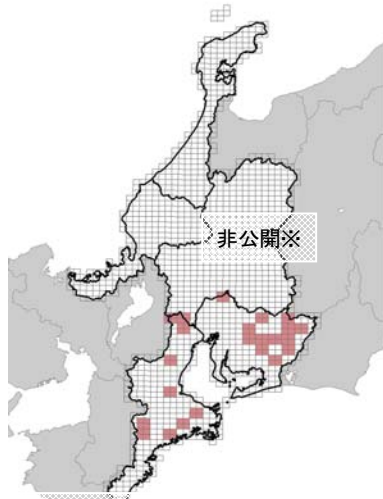
日本固有種

文化財保護法		天然記念物
種の保存法		
レッドデータ カテゴリー	環境省	絶滅危惧 I B 類 (EN)
	愛知	絶滅危惧 I B 類 (EN)
	岐阜	絶滅危惧 I 類 (I)
	三重	絶滅危惧 I A 類 (CR)
	石川	-
	福井	-
その他条例		-



写真提供 : 岐阜県世界淡水魚園水族館

中部地域での分布



※岐阜県は非公開

種の特徴

全長 7~10cm。河川の上流、中流域に生息する。上・中流域において、巨岩の陰や浮き石帯、ヨシ帯の広がる場所に生息する。夜行性で、昼間は岩の隙間などで休む。食性は動物食で、底層にいる昆虫などを食べる。

問題・課題

- ・ ダムの建設、生活排水や農業排水による水質の悪化が懸念される。
- ・ ダム建設、体群の消滅による分布の分断化が懸念される。
- ・ 大きな礫の下のくぼみや河岸の穴などの生息環境が、一時的な破壊も含めた河川改修によって消失したことが、個体数減少に大きな影響を与えたと考えられる。

主な保全活動

- ・ 生息地保全
- ・ 魚食性外来魚の駆除
- ・ 地元住民を中心としたボランティア団体による、自然観察会などの啓発活動



観察・調査研究

普及啓発

取組内容

- ◎生息地でのネコギギの分布状況および定点での個体数の変動をモニタリングしています。(毎月7~8月に実施しています。)
- ◎文化庁の許可を取り、水槽内での飼育および繁殖を行っています。
- ◎小学生を対象にした生き物講座を行っています。
- ◎パンフレットの発行を行い、普及啓発に努めています。

《活動地域》

愛知県碧南市碧南水族館



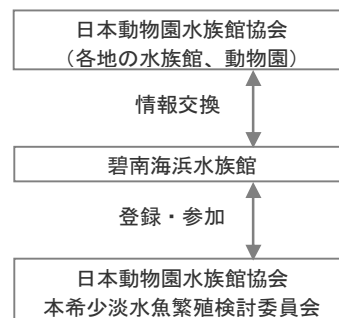
工夫点

他団体との連携

日本動物園水族館協会 希少淡水魚飼育下保存に取り組む委員会（日本希少淡水魚繁殖検討委員会）に参加し、矢作川水系のネコギギの繁殖による種の保護活動を行っています。

希少種に関する情報の取り扱いについて

河川での魚類調査を行っていますが、結果について、希少種の名前は明記しても生息場所が特定できないようにしています。館内の解説についても、地名などの表現を避けるようにしています。



活動成果

☆希少種の保護活動を館内でもPRしていることから、活動の重要な手がかりとなる、具体的な生息場所などの情報が集まってくるようになりました。

団体紹介

海岸の埋立等により自然海岸が失われたため、子ども達や地域住民が海の自然と触れ合い、学習できる場として開館しました。希少種の保全活動として、ウシモツゴ、ネコギギなどの生息状況調査及び飼育、繁殖を行っています。このほか外来種については、パネル等を用いた啓発活動や、小学生を対象に外来種の採取、解剖を行うなどの環境学習を実施しています。

設立年 : 昭和 57 年
 構成員 : 個人 18 名
 URL : <http://www.city.hekinan.aichi.jp/aquarium/>
 住所 : 〒447-0853 愛知県碧南市浜町 2-3
 TEL : 0566-48-3761 / FAX : 0566-41-7288

VOICE

外来生物を採集、解剖し、どのような生物を食べ自然界にどんな影響を与えているかを考えてもらう体験学習講座を実施しています！

観察・調査研究

普及啓発

取組内容

- ◎平成 15 年からネコギギの生息調査を実施しています。平成 19 年からは、部員と OB を含む 20 名程度で夜間潜水調査を実施しています。
- ◎ネコギギ生息地域の全戸に、ネコギギパンフレットを配布した後、その地区でネコギギ保護に関する講演会と研究発表会を行い、地元自治体を含め 30 名程度が出席しました。
- ◎高齢者への聞き取り調査を実施しています。
- ◎夏の鈴鹿川体験に補助スタッフとして参加しました。(小学生 500 名以上参加)
- ◎研究発表会、審査会への参加、及び学会投稿、ポスター発表、公演、機関誌の発行を行っています。

《活動地域》
亀山市鈴鹿川流域



工夫点

行政との連携

県と市が中心となり亀山市ネコギギ保護指導委員会（5 年計画）が発足されましたが、私たちはその調査員として委嘱されています。

希少種に関する情報の取り扱いについて

密猟の対象となるため、生息地については、情報が漏れないよう徹底しています。



生息調査の様子

写真提供：鈴鹿高等学校自然科学部

活動成果

- ☆平成 17 年は鈴鹿川水系では、5 年ぶりにネコギギを 3 個体捕獲しました。
- ☆平成 20 年の夜間調査により、鈴鹿川水系の生息が低いと見られていたエリアから、高密度生息地を発見しました。
- ☆活動が評価され「平成 22 年 日本水大賞 部科学大臣賞」、「平成 21 年 日本河川協会河川功労者表彰第 4 項」、「平成 18 年、平成 20 年 川のワークショップみえ 特別賞」などを受賞しました。

団体紹介

鈴鹿川の現状を地域に発信し、綺麗で魚の豊富な鈴鹿川を復活させる原動力になることを目標に、水質や生物の調査、そして国の天然記念物であるネコギギの分布調査を実施しています。また、これらの調査結果を学会や審査会のほか、地域で様々なイベントにおいて発表することで、啓発活動を行っています。

VOICE

高校生には、社会的な利害関係がなく、河川環境の現状と課題を率直に訴える力があります。地域との良好な関係を維持しながら、他団体との連携、情報発信、活動を発展させていきたいと思っております！

設立年：平成 6 年
 構成員：個人 9 名
 住所：〒513-0831 三重県鈴鹿市庄野町 1260
 TEL：059-378-0307(代) / FAX 059-370-0875(代)



観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

《活動地域》

亀山市安坂山町
鈴鹿川水系安楽川

取組内容

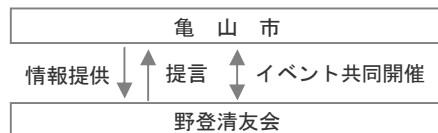
- ◎ 亀山市が実施している国天然記念物ネコギギの生息確認調査に協力しています。
- ◎ 安楽川の河川清掃を実施しています。
- ◎ 地域住民・小学生を対象とした、安楽川に生息する生物の観察会を実施しています。
- ◎ ネコギギの保全に向けて亀山市に対して提言を行っています。



工夫点

行政や他団体との連携

亀山市と協働でネコギギの生息調査やイベントの開催などを行っていますが、市から情報提供がない場合などは、自分たちから行動し、情報収集を行うよう努めています。



活動成果

☆ 地域住民・小学生も巻き込んだ安楽川でのイベントでは、ネコギギだけではなく、アカザ、ウナギ、モクズガニなど沢山の生物の生息が判明し、身近な自然への関心が高まっていると感じています。

団体紹介

子どもの頃から慣れ親しんできた安楽川の自然を、後世に残したいという想いからはじめました。自然との共生を目標に山や川の自然資源の維持保全を行っています。安楽川に生息するネコギギの保全を行うために、生息調査への協力や川の清掃作業を実施するほか、観察会などの普及啓発活動や、行政への提言も行っています

設立年 : 昭和 58 年
 構成員 : 個人 25 名
 住所 : 〒519-0223 三重県亀山市安坂山町 1607
 TEL : 0595-85-0859 / FAX : 0595-85-1053

VOICE

子どもの頃から慣れ親しんだ安楽川の自然を将来の子どもたちへ残したいという想いから活動を開始しました。川のシンボルとして、ネコギギを後世に受け継ぎたいと思っています！



陸水生態系における保全対象 ホトケドジョウ

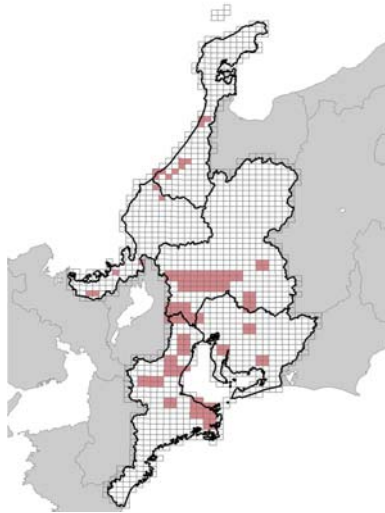
コイ目ドジョウ科
学名 : *Lefua echigonia*
日本固有種

文化財保護法	-	
種の保存法	-	
レッドデータ カテゴリ	環境省	絶滅危惧 I B 類 (EN)
	愛知	絶滅危惧 II 類 (VU)
	岐阜	準絶滅危惧 (準)
	三重	絶滅危惧 II 類 (VU)
	石川	絶滅危惧 II 類
福井	県域絶滅危惧 I 類	
その他条例	石川県希少野生生物動物種	



写真提供 : 八千代エンジニアリング

中部地域での分布



種の特徴

湧水を水源とする細流、湿原や水田周りの小溝に生息する。冷水性の底生魚で、水温が 27℃ を超えると弱る。小型で最大全長は雌雄とも約 80mm。

本種を指標とした水田の生物多様性保全施策が、農林水産省農村振興局により立案されている。

問題・課題

- ・ 湧水の枯渇、圃場整備、過度の農薬散布、宅地化、水田周りの小溝の U 字溝により各地で個体数が急減している。

主な保全活動

- ・ 生息地保全
- ・ 魚食性外来魚の駆除
- ・ 地元住民を中心としたボランティア団体による、自然観察会などの啓発活動



観察・調査研究

取組内容

◎平成13～平成21年に、ホトケドジョウの分布調査を大学周辺で実施しました。

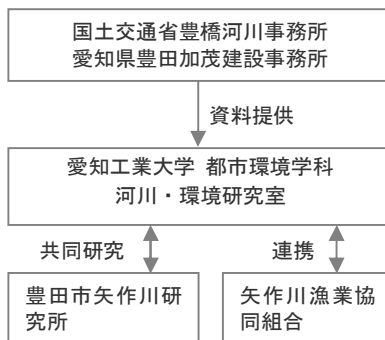
工夫点

希少種に関する情報の取り扱いについて

以前はホトケドジョウの生息地を非公表にしてきましたが、平成21年に公表しました。

他団体との連携

豊田市矢作川研究所と共同研究を行っています。また、国土交通省豊橋河川事務所・愛知県豊田加茂建設事務所から資料提供をいただいています。その他、矢作川漁業協同組合と連携しています。



《活動地域》

瀬戸市、豊田市、長久手町
大学周辺の丘陵地小河川



活動成果

◎平成18年卒業論文
「愛・地球博記念公園とその付近における
ホトケドジョウ等の分布と生態」

宇野永一郎 坂本久享 細井宣
<http://aitech.ac.jp/~riv-env/kako.htm>

団体紹介

主に矢作川中上流域をフィールドとして、河川とその周辺環境に関する研究をしており、土砂移動や河床材料の変化なども見据えて展開しています。現在は矢作川全域でカワヒバリガイの調査を実施しているほか、平成13～平成21年に大学付近の小川においてホトケドジョウの調査を実施し、結果を発表しました。

設立年 : 平成13年
構成員 : 個人 35名程度
URL : <http://aitech.ac.jp/~riv-env/>
住所 : 〒470-0392 愛知県豊田市八草町八千草1247
愛知工業大学 工学部 都市環境学科
E-mail : s-uchida@aitech.ac.jp
TEL : 0565-48-8121(内線2521) / FAX : 0565-48-0030

VOICE

大学の研究室の活動です。主に矢作川中上流域をフィールドとして、河川とその周辺環境に関する研究をしており、土砂移動や河床材料の変化なども見据えて展開しています。



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生態系



沿岸・海洋生態系



植物



哺乳類



鳥類



爬虫類



両生類



魚介類



貝類



昆虫類

陸水生態系における保全対象

メダカ

ダツ目メダカ科

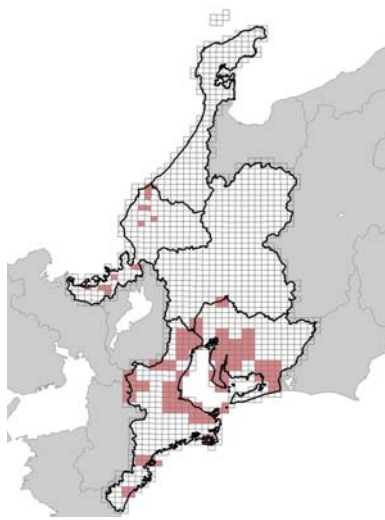
学名 : *Oryzias latipes*

文化財保護法	-	
種の保存法	-	
レッドデータ カテゴリー	環境省	絶滅危惧Ⅱ類
	愛知	準絶滅危惧 (NT)
	岐阜	-
	三重	準絶滅危惧 (NT)
	石川	-
福井	県域絶滅危惧Ⅱ類	
その他条例	-	



写真提供：八千代エンジニアリング

中部地域での分布



種の特徴

平野部の池や湖、水田、大・中河川の下流域の淀み等に生息する。塩分に対する耐性も強い。雑食性であるが、落下した昆虫なども捕食するので、口は小さいが上向き。

問題・課題

- ・ 都市化と水田の乾田化や小川などの生息環境の消失が懸念される。
- ・ 用水路などコンクリート壁化により産卵床としての水草繁殖場の消失が懸念される。
- ・ 用水路と水田との水流落差の増大による生息地の孤立化が懸念される。
- ・ 外来魚のブラックバスやブルーギルなどによる捕食、外来魚（カダヤシ）との競合による個体数の減少が懸念される。
- ・ 今後の、人為的な移殖・放流による分布拡大も危惧される。

主な保全活動

- ・ 生息地保全
- ・ 魚食性外来魚の駆除
- ・ 遺伝学的地理変異を考慮しながら地域個体群の保護と生息環境の保全と復元

種の保全

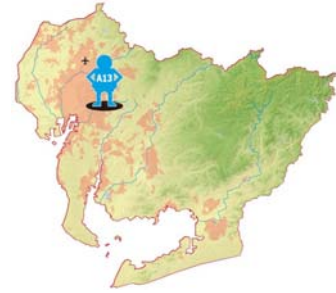
普及啓発

取組内容

- ◎世界のメダカ館で、メダカの現状や生態などをパネル展示などで紹介し、普及啓発に努めています。
- ◎メダカの里親制度を実施し、小学生にメダカを飼育してもらい、里親になってもらう企画を実施中です。
- ◎カダヤシとメダカの違いや、外来種の影響などについての普及啓発に努めています。
- ◎京都大学国際シンポジウムにおいて、発表を行いました。「メダカと里山：身近な生物多様性を守る動物園の試み」

《活動地域》

東山動物園内
世界のメダカ館



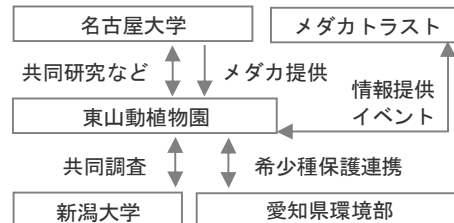
工夫点

メダカの里親制度

当園で飼育しているメダカを、小学生を対象とした市民の方々に無料で配り、家庭で飼育していただく制度を実施し、自然への興味関心のきっかけをつくっています。

他団体との連携

名古屋大学からメダカの提供をいただき、同大学や新潟大学と、共同研究を行っています。また、メダカトラストとイベントを共催したり、情報交換を行っています。愛知県環境部とは、希少種保護で連携を行っています。



団体紹介

世界のメダカ館では、ニホンメダカが本来生息している田んぼの風景を再現し、また庄内川の上流から河口・干潟までの多様な環境の中で生活する身近な水生生物や希少淡水魚類などを展示しています。メダカの現状や生態、カダヤシ等の外来種が在来種に与える影響などを普及啓発し、希少種保護の意識を向上することを目指しています。

設立年：昭和12年
 構成員：個人 68名
 URL：<http://www.higashiyama.city.nagoya.jp>
 住所：〒464-0804 名古屋市千種区東山元町3-70
 E-mail：higashiyama@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp
 TEL：052-782-2111(代) / FAX：052-782-2140

VOICE

地域住民も巻き込んだ環境学習により、地域住民の自然への関心が高まっていると感じます。メダカの里親制度は、小学生以外にも対象を広げていきたいと思っています！



陸水生態系における保全対象 ヤリタナゴ

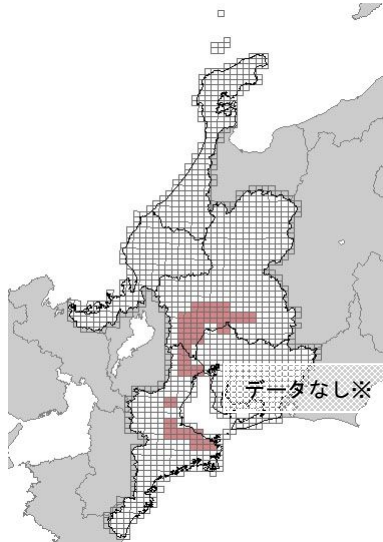
コイ目コイ科
学名：*Acheilognathus lanceolata*

文化財保護法	-	
種の保存法	-	
レッドデータ カテゴリ	環境省	準絶滅危惧 (NT)
	愛知	準絶滅危惧 (NT)
	岐阜	準絶滅危惧 (準)
	三重	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
	石川	-
福井	-	
その他条例	-	



写真提供：岐阜県世界淡水魚園水族館

中部地域での分布



※愛知県はメッシュデータ無し

種の特徴

体長 10~13cm。体形は側扁し、タナゴ類としては体高。河川の下流域や支流、灌漑用水路、湖沼などに生息し、やや流れのあるところを好む。食性は雑食。二枚貝に産卵する。

問題・課題

- ・ 開発による生息地の破壊と、それに伴う産卵場所である二枚貝類の減少が懸念される。
- ・ ブラックバスやブルーギルによる捕食、釣りや飼育の対象魚であり、佃煮や雀焼き等で食用に供されることもあり捕獲による個体数減少が懸念される。
- ・ 霞ヶ浦では、オオタナゴによる競合駆逐が問題となっている。

主な保全活動

- ・ 生息地保全
- ・ 魚食性外来魚の駆除
- ・ 地元住民を中心としたボランティア団体による、自然観察会などの啓発活動
- ・ 遺伝子汚染や病気の伝播等が考えられるので、野外へ遺棄することなどへの注意喚起

観察・調査研究

生息地保全

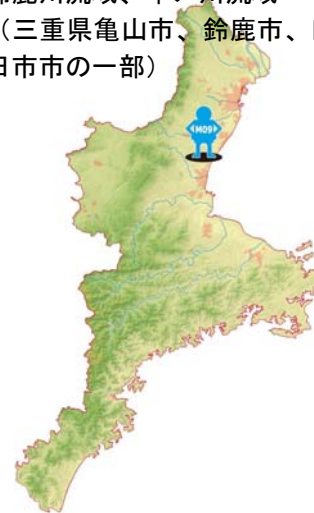
普及啓発

取組内容

- ◎毎年、ヤリタナゴの繁殖と放流（2箇所）、モニタリングを実施しています。
- ◎水生生物の生息及び遡上環境の改善を目的とした、魚道整備促進活動を行っています。
- ◎10箇所のため池について、外来魚の駆除を実施しています。
- ◎「川のワークショップ三重」や「外来魚情報交換会」、「日本方言研究会」での活動発表を行っています。

《活動地域》

鈴鹿川流域、中ノ川流域
（三重県亀山市、鈴鹿市、四日市市の一部）



工夫点

希少種に関する情報の取り扱いについて

希少種の生息場所については、詳細な場所が特定できないよう配慮しています。

他団体との連携

希少種の保全、外来魚駆除において、「東海タナゴ研究会」、「魚と子どものネットワーク」、「三重大学研究室」等と連携して取り組んでいます。

水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座

連携

東海タナゴ研究会
魚と子どものネットワーク
三重大学研究室

団体紹介

水辺について考え、行動を始めることにより、その環境を改善し、身近に親しめる豊かな自然と生態系を持つ水辺を取り戻したいと活動を開始しました。鈴鹿川及び中の川水系において、魚類相調査、在来魚保護活動・外来魚駆除活動、水生生物の生息及び遡上環境の改善を目的とした魚道整備促進活動等を実施しています。

VOICE

我が子が小学生になり、自分自身がかつて遊んだ地域の水環境に、再び接するようになりました。しかし、昔の姿とは大きく異なる環境の変化を目の当たりにし、再生への想いを抱いて、活動を開始しました！

設立年：平成14年
構成員：個人 6名
URL：<http://www.ztv.ne.jp/web/cherry/>
住所：三重県亀山市
E-mail：uozu_suzukagawa@yahoo.co.jp



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生生態系



沿岸・海洋生態系

陸水生態系における保全対象

湿地性の希少種

愛知県名古屋市

湿地の特徴

東海地方の湿地には、東海丘陵要素植物群といわれる世界でも東海地方にしかない貴重な植物が分布する。

希少な野生生物の成育環境及び、地域の里山として、所有者、行政、地域ボランティアなどによって保全活動が実施されている。



シラタマホシクサとミカワシオガマ

写真提供：豊田市自然観察の森

希少な生物

【植 物】シラタマホシクサ、ミミカキグサ、ホザキミミカキグサ、ウンヌケ、トウカイモウセンゴケ、シデコブシミカワシオガマ、マメナシ（以上、東海丘陵要素植物群）、サギソウなど

【両生類】カスミサンショウウオなど

【昆 虫】ヒメタイコウチ、ハッチョウトンボなど

問題・課題

- ・ 湿地枯れ草による富栄養化など、環境が変化していく湿地の永続的な維持管理が課題となっている。

主な保全活動

- ・ 生息地保全（湿地の枯れ草の除去、樹林地の間伐）
- ・ 外来生物の駆除
- ・ ビオトープの保全と自然観察のための環境整備
- ・ 地元住民を中心としたボランティア団体による、自然観察会などの啓発活動



観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎保全活動、調査活動に関しては、地域のボランティアの愛護会によって、極めて熱心に行われています。この湿地は一部、本学の敷地でもあるので、その活動のサポート、**研修会**などの会場提供などを行うとともに、学生・教職員の**観察会**の対象として利用しています。
対象種：シデコブシ、マメナシ、トウカイコモウセンゴケ、などの東海丘陵要素植物群
- ◎**外来植物の駆除と利用**を実施しています。
◎地元小学校の**見学会**の受け入れを予定しています。

《活動地域》

名古屋市守山区大森八竜湿地



工夫点

他団体との連携

大学内の八竜湿地の保全に関して、地域の方々が形成し、熱心な保全活動を継続しているため、研修会への参加、支援・協力、講演の依頼など連携を行っています。また、木道やフェンスの整備などは名古屋市が行っています。

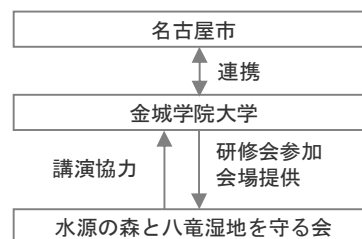
キャンパス内でアイデア募集

大学として、将来に渡ってどのような活動を行うべきかという議論とともに、学生・教員へのアイデア募集を実施しました。

そのひとつとして、「大学キャンパスから地球環境問題を考える」という企画が採用されました。現在、学生を中心に、キャンパス内で、里山保全学習や整備、広報活動、地域交流が展開されています。

キャンパス内でアイデア募集

基本的に活動はボランティアを基本として考えていますが、特に、学生の活動に関しては、学生に参加のきっかけをつくる工夫も必要と考え、各活動に対して一定の基準を設けて、学内の各売店で支払いに利用できるエコポイント（地域通貨）を支払うことを計画しています。



団体紹介

大学に隣接する八竜湿地には、東海丘陵要素植物群が分布しています。この湿地の保全や里山の整備を目的として、地域の団体と協働で保全活動や観察会、また外来種の駆除を行っています。今後は、さらに学生の参加を呼びかけ、里山保全に関する学習や地域、大学間の交流などを進めていく予定です。

設立年：平成 21 年
構成員：個人 30 名
URL：<http://www.kinjo-u.ac.jp/tono/>
住所：〒463-8521 愛知県名古屋市守山区大森二丁目 1723
金城学院大学現代文化学部
E-mail：tono@kinjo-u.ac.jp
TEL：052-798-0180 / FAX：052-799-2196

VOICE

大学内の里山保全グループとして発足しました。現在、官・学・民の3者で湿地保全の重要性を共有し、各の役割の中で協力し合い、貴重な湿地を保全しています。

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

《活動地域》

名古屋市、天自己高島地内
島田緑地内、自然生態園

取組内容

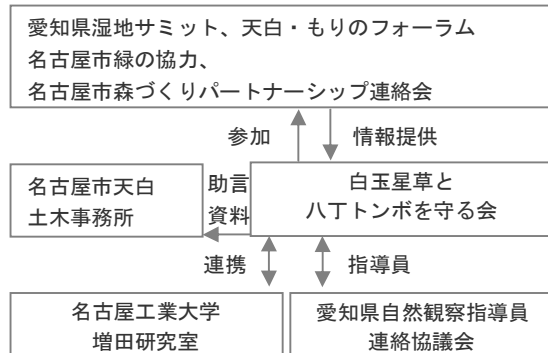
- ◎東海丘陵要素植物および、湿地性のトンボなどの生息地保全、希少種の分布ならびに、生活史の調査研究を行っています。
対象種：東海丘陵要素植物としてのシラタマホシクサ、サギソウ、食虫植物としてのミミカキグサ、ホザキミミカキグサ、モウセンゴケ、トウカイガタコモウセンゴケ、湿地性のトンボなど
- ◎名古屋市から食虫植物の咲く7月（この季節はハッチョウトンボが見られる）の時期と、9月シラタマホシクサが咲く季節の年2回に、観察会を実施しています。
- ◎湿地内に入る外来植物や高茎草本を除去しています。
対象種：外来性食虫植物、インブラーター、オオバモノイト、タヌキモ、セイタカアワダチソウなどの高茎草本
駆除方法：発見次第、採取



工夫点

他団体との連携

場所は土地区画管理により消失してしまう区域であったのを名古屋市が土地を買い上げて保護地をつくりました。現在保護の主体は名古屋市であり、本団体は名古屋市と協同して湿地の保全にあたっています。



団体紹介

島田湿地の保護主体である名古屋市緑政局と協働し、湿地の保全とそこに生育・生息するシラタマホシクサやハッチョウトンボといった希少種の保護を行っています。月1回の保全作業（外来種駆除等を含む）と生態調査（分布と個体数等の把握）を実施するほか、年に2回（7月と9月）自然観察会を実施しています。

設立年：昭和63年
構成員：個人 20名
住所：〒480-1131 愛知県愛知郡長久手町長湫丁子田 17-62
TEL：052-731-8590 / FAX：052-731-0201
（名古屋市みどりの協会を通して連絡してください）

VOICE

東海湖植物群（同伊勢湾植物群）の保護を中心に、調査研究を行い、名古屋地区の湿地植物の保全活動のリーダー的存在となっています！

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎平成3年より開発計画予定地・中池見において、**定例自然観察会**（毎月第4日曜日）を実施し、**保全、調査、啓発活動**を実施してきました。
対象種：デンジソウ、ホトケドジョウウなど
- ◎外来種の駆除を実施しています。
- ◎**環境省事業**「重要生態系監視地域モニタリング推進事業（モニタリングサイト1000）」里地分野コアサイトとして**調査事業を5年間実施**しています。
- ◎学校、各種団体の**体験学習**や**観察会支援**などを実施しています。
- ◎鳥類全般について**生息調査**、**鳥類標識調査**を行っています。
対象種：ノジコ、ミゾゴイ、オシドリ、ミサゴ、サンバ、ヒクイナなどの鳥類

工夫点

希少種に関する情報の取り扱いについて

希少種の生息、生育場所の情報を伏せています。しかし出入りが自由なため、マニアによる盗掘があり、巡回確認・監視を行っています。

他団体との連携

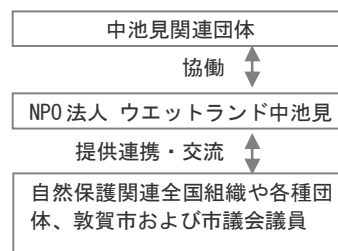
自然保護関連全国組織や各種団体、敦賀市および市議会議員と連携・交流しています。また、中池見関連団体と協働で湿地の管理を行っています。

活動成果

☆開発計画のため放置状態にあった十数年の間に荒廃した、動植物の生息・生育環境を修復することにより、かつての動植物が姿を見せるようになりました。

《活動地域》
敦賀市中池見湿地

除草の様子



デンジソウ

団体紹介

中池見湿地の環境保護・保全事業を行ない、自然環境教育の場として社会教育やまちづくりの推進を図ることを目的としています。環境省事業「重要生態系監視地域モニタリング推進事業」里地分野コアサイトとして調査事業5年目で、貴重種保全や外来種駆除等の活動や、学校・各種団体の体験学習や観察会支援等を実施しています。

設立年：平成15年
 構成員：個人 130名
 URL：<http://nakaikemi.jp/>
 住所：〒914-0047 福井県敦賀市東洋町6-37
 E-mail：scasasaki@rm.rcn.ne.jp
 TEL：0770-23-5003 / FAX：0770-23-5003

VOICE

中池見の調査結果が活用され、保全・再生・復元が科学的な根拠を持ったものになることを望んでいます！



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生態系



沿岸・海洋生態系

陸水生生態系における保全対象

三方五湖周辺の希少種

福井県三方郡・三方上中郡

湿地の特徴

三方五湖は、福井県三方郡美浜町と同県三方上中郡若狭町に跨って位置する5つの湖の総称。国指定の名勝、若狭湾国立公園に属する。

若狭湾に接し、淡水の三方湖（みかたこ）、汽水の水月湖（すいげつこ）、菅湖（すがこ）汽水、久々子湖（くくじこ）汽水、海水の日向湖（ひるがこ）と、水質が異なる。平成17年ラムサール条約指定湿地に登録された。



希少な生物

【植 物】 ヒシ、エビモ、コウホネ、クロモなど

【鳥 類】 オオワシ、オジロワシ、ミサゴ、ノスリ、オシドリ、ツルシギ、
カンムリカイツブリ、コハクチョウなど

【魚介類】 イチモンジタナゴ、タモロコ、ナガブナ、ハスなど

問題・課題

- ・ 外来種の侵入が懸念される。
- ・ 農業や生活様式の変化に伴う環境負荷の増大や湖周辺の社会基盤整備に伴う浄化機能の低下により、ヘドロの堆積による底質の悪化、水質の悪化が懸念される。
- ・ なぎさの消失による湖岸環境の変化による生物生息環境への影響が懸念される。

主な保全活動

- ・ 生息地保全
- ・ 外来生物の駆除
- ・ 地元住民を中心としたボランティア団体による、自然観察会などの啓発活動

観察・調査研究

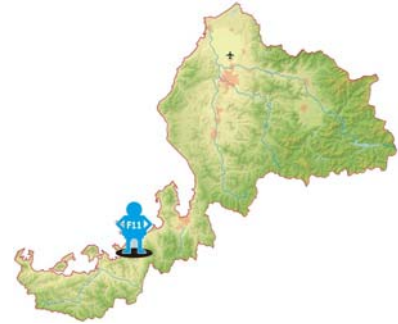
生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎野鳥観察会、生息調査を実施しています。
 - ◎とまり木修理などの保護活動を行っています。
 - ◎森林保全パンフレットの発行、環境学習会などの啓発活動を実施しています。
- 対象種：オジロワシ、オオワシ、ミサゴ、ノスリ、ハス、イチモンジタナゴ、ナガブナ、ヒシ、エビモ、コウホネ、クロモなど

《活動地域》

若狭町三方五湖、ハス川
カヤ田

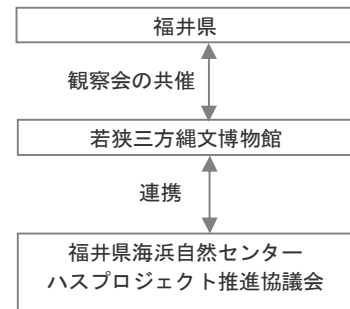
工夫点

行政、他団体との連携

県と共同で、観察会を開催しています。また、福井県海浜自然センターや、ハスプロジェクト推進協議会と連携して活動しています。

希少種に関する情報の取り扱いについて

希少種の生息場所については、詳細な場所が特定できないよう配慮しています。



団体紹介

博物館設立当初から、縄文に学ぶとして“循環と共生”をコンセプトに環境活動に取り組んでいます。三方五湖周辺の植物・鳥類・両生類・魚類の希少種保全活動として、生息調査、生息地保全、観察会（県と共同開催）、環境学習会、パンフレット発行等を行っています。また、外来種であるウシガエルの駆除も実施しています。

設立年：平成12年
 構成員：個人 6名
 URL：<http://www.town.fukui-wakasa.lg.jp/jomon/>
 住所：〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町島浜 122-12-1
 E-mail：jomon@town.fukui-wakasa.lg.jp
 TEL：0770-45-2270 / FAX：0770-45-3270

VOICE

博物館設立当初から、縄文に学ぶとして“循環と共生”をコンセプトに環境活動に取り組んでいます。

陸水生生態系における保全対象

中部地域の水生生物

愛知県

中部地域の水辺

中部地域の代表河川である木曾川、長良川、揖斐川からなる木曾三川は、豊かな水資源を濃尾平野や北勢地方にもたらし、多様な生態系を育んでいる。

また、中部地方 13 水系において、市民参加による水生生物調査が実施され、全調査地点の 52.3%が「きれいな水」、45.4%が「少し汚い水」、2.3%が「汚い水」とすると、指標生物による水質階級で判定された。（平成 18 年「水生生物調査の結果について」国土交通省中部地方整備局）



希少な生物

【魚介類】スナヤツメ、イタセンパラ、ヤマメ、ハリヨ、イトヨ、ネコギギ、ホトケドジョウ、ヤリタナゴ、カワバタモロコなど

【両生類】オオサンショウウオ、アベサンショウウオ、ダルマガエル、ナガレヒキガエル、クロサンショウウオなど

【爬虫類】スッポン、ヒバカリ、シロマダラ、タカチホヘビなど

環境の変化と課題

- ・ 災害防止のための河川の浚渫や護岸工事、水資源確保のためのダムや河口堰の建設、干拓事業、圃場整備、用水路整備、細流工事、湧水帯の破壊、河川の澱みやワンドの破壊、ため池の埋立、護岸整備、堤防等の河川横断構造物の築造、繁殖地となる水田地帯の埋め立て等による、生物の生息環境や水辺生態系への影響が懸念される。
- ・ 水質汚染（ゴミ・不法投棄、化学物質、富栄養化など）による、生物の生息環境の影響が懸念される。
- ・ 限られた用地の中で画一的な技法による、多自然型川づくりの影響が懸念され、マニュアルや河川資材に拘らず川を知る技術者が活躍できる組織体制の確立が望まれる。



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生生態系



沿岸・海洋生態系

A11

名古屋市水辺研究会 名古屋市の水生生物保全

愛知県

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎河川生態系の生物調査、研究、及び環境学習指導（小学校総合学習協力、水辺教室、自然観察会）を行っています。
対象種：ホトケドジョウ、スジシマドジョウ東海型、カワバタモロコ、ダルマガエル、サンショウウオなど多数（その他貝類、植物）
- ◎外来種の駆除を実施しています。
- ◎調査研究成果の出版、観察手帳の発行、水辺マップの監修、市広報への連載、シンポジウム、活動発表交流会での公演等、普及啓発に努めています。
- ◎水辺の環境整備各種委員会において、委員として活動しています。

工夫点

水辺の専門家として広く活動

河川生態系の調査研究活動を行いながら、水辺の専門家として環境学習、環境保全の活動を指導しています。また、地域河川を熟知する川の技術者として、河川整備における委員会等への出席と提言を行ってきました。

《活動地域》

中部地域の河川全域、及び丘陵地、湿地

（特に、名古屋市内河川、名古屋市東部丘陵地帯、瀬戸市の里山など丘陵地帯、小幡緑地公園本園と丘陵地帯、守山区と瀬戸市にまたがる愛知用水左岸湿地群と大矢川源流域）



団体紹介

河川生態系の調査研究と環境学習指導を重点活動としており、活動地域は名古屋市周辺自治体や岐阜市に及びます。ホトケドジョウ、サンショウウオ等の貴重種の生息環境の保全、調査、普及啓発や、オオクチバス、ブルーギル等の外来種の調査、駆除、地域住民への聞き取り調査による意識啓発などの活動を行っています。

代表：國村 恵子

平成7年 名古屋市水辺研究会創設、平成14年「川に遊び 川に学ぶ」発刊

平成15年「庄内川を見つめよう」名古屋市広報連載、平成16年「愛知用水モニタリング事業報告」発刊

平成17年「国際博覧会会場周辺水辺環境調査事業」監修、平成19年「全国水シンポジウム市民実行委員会」委員長

平成20年「香流川水辺マップ」監修

他に、堀川水環境改善協議会、愛知県河川整備計画流域委員会、愛知県移入種検討委員会、あいち環境学習推進協議会、海上の森運営協議会、山崎川流域委員会等の各委員など

設立年：平成7年

URL：<http://www15.ocn.ne.jp/~mizube/>

住所：〒462-0804 愛知県名古屋市北区上飯田南町4-1-3

E-mail：mizube@axel.ocn.ne.jp

FAX：052-915-1209

VOICE

小学校総合学習において実施される、校区の川での体験学習への協力と指導を行っています。調査研究と環境学習活動の対象河川は、60河川に及んでいます！

観察・調査研究

生息地保全

取組内容

- ◎湧き水生生態系に生息する生物（ホトケドジョウ、スナヤツメ、ヒメタイコウチ、スジシマドジョウなど）の生活史研究を行っています。
- ◎生息種数、個体数調査を年間8~10回実施しています。
- ◎物理・化学的環境の測定（水温、水質、湧水流出量、流速など）の調査を行っています。
- ◎湧き水生生態系における食物連鎖の解明を進めています。
- ◎生息環境の保全活動を行っています。
- ◎四日市市菰野町の自然保護団体が主催する外来魚駆除に定期的に参加しています。
駆除方法：池干し・捕獲

工夫点

- ☞希少種に関する情報の取り扱いについて
希少種の生息場所については、詳細な場所が特定できないよう配慮しています。

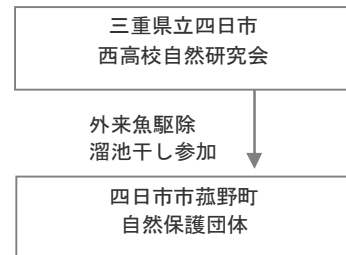
活動成果

☆「平成20年AITサイエンス大賞（愛知工業大学主催）優秀賞」を受賞しました。テーマは「豊かな湧水にはぐくまれる魚たち 湧水の住人ハハリヨ（その1）」です。

《活動地域》
三重県北部の河川



交流・連携図



団体紹介

三重県北部の河川を対象に、湧き水生生態系に生息する生物の生活史研究、希少生物の生活史解明と保護活動、物理・化学的環境の測定（水温、水質、湧水流出量、流速など）、湧き水生生態系における食物連鎖の解明などを行っています。また、自然保護団体が主催する外来魚駆除のための溜め池干しに定期的に参加しています。

構成員：個人 20名
住所：〒512-1211 三重県四日市市桜町 6100
E-mail：nishiko@424hs.jp
TEL：059-326-2010(代) / FAX：059-326-4830(代)

VOICE

高校の自然研究会です。三重県北部の河川を対象に、湧き水生生態系に生息する生物の生活史を研究しています！

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎希少種の生息調査を実施しています。
対象種：イチモンジタナゴ、カワバタモロコ、イタセンパラ、ネコギギ他、流域で暮らす生物全般
- ◎外来魚を駆除した池に、希少種（イチモンジタナゴ、カワバタモロコ）を再導入する施策を実施しています。

工夫点

希少種に関する情報の取り扱いについて

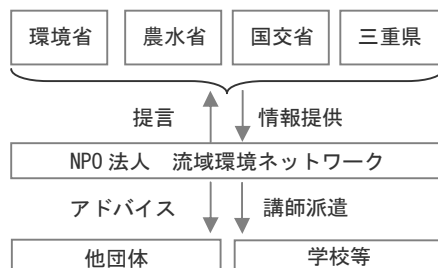
希少種の生息、生育場所の情報は公開していません。

調査研究と施策

調査、研究に力を入れています。論文を作成し、学会発表を行い、科学的・生物学的根拠を明らかにし、施策を行うようにしています。

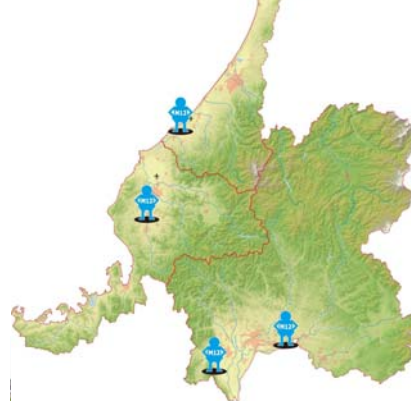
他団体との連携

国、自治体への提言を行うと共に、情報提供を受けています。また、他団体へのアドバイスや、学校等への講師派遣を実施しています。



《活動地域》

岐阜県養老町、岐阜県・愛知県の木曾川、三重県松阪市、石川県柴山潟、福井県和田川



調査の様子

写真提供：
流域環境保全ネットワーク

活動成果

☆池干しを実施して外来魚を駆除した池に、イチモンジタナゴ、カワバタモロコを再放流し、成功しました。

団体紹介

会員の中心である学識者の調査研究活動により得られた科学的な根拠に基づく流域自然環境保全の施策の提案や、地域住民や行政と協働しての保全・復元活動により、地域社会の活性化と健全な自然観を育成することを目的としています。池干ししてブラックバスを駆除し、生息していたカワバタモロコを戻すなどの活動も行っています。

構成員：個人 14名
URL：http://ryuiki.net/index.php
住所：〒519-2143 三重県松阪市中万町 1281
E-mail：kanri@ryuiki.net
TEL：090-7108-3394

VOICE

活動を通じて、淡水魚類に関わる河川環境、ひいてはあらゆる自然環境の本質的な保全に寄与できるものと、期待しています！



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生生態系



沿岸・海洋生態系

G13

NPO 法人 リバーキーパージャパン 希少種保全への提言

岐阜県

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

政策提言

取組内容

- ◎県と協働で、**放置水田の復元**に取り組んでいます。
- ◎**観察、調査研究、普及啓発、政策提言**を行っています。

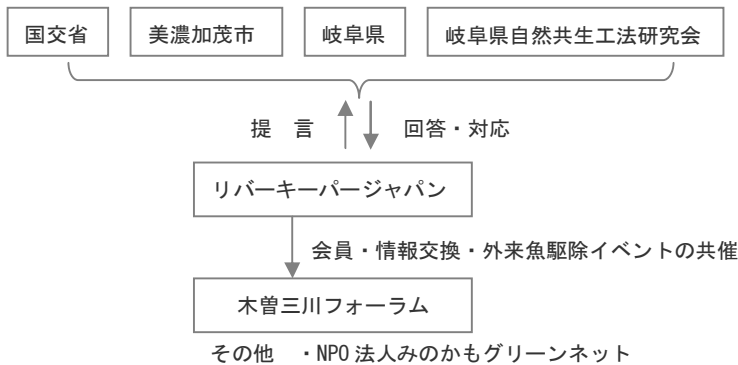
《活動地域》
木曾三川流域



工夫点

- 📌 **河川・山林の専門集団を目指して**
専門的知識を個々に持つ集団として、多くの人材は不要であるため、積極的な募集は行っていません。私たちは、河川・山林などに対する自らの考えを表現したり、自治体に提言することが主目的であるため、100人の「動く人」よりも1人の「考え発言する人」を重要視しています。

交流・連携図



団体紹介

河川流域の豊かな自然を保全するため、自然を適切に評価出来る市民意識の醸成を図る活動・体験学習などを通じて、次世代の教育活動・生態系の保全技術の研究を実施しながら、岐阜県と協働での木曾三川流域の放置水田の復元提案や、オオクチバスやアライグマ等の特定外来種駆除についての政策提言を行っています。

設立年 : 平成 15 年
 構成員 : 個人 11 名
 住所 : 〒505-0042 岐阜県美濃加茂市太田本町 3-3-37
 TEL : 0574-26-0030 / FAX : 0574-26-0030

VOICE

河川・山林などに対する自らの考えを表現したり、自治体に提言することが主目的であるため、100人の「動く人」よりも1人の「考え発言する人」を重要視しています！

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎両生類の生息状況調査を行っています。
対象種：アベサンショウウオ、ホクリクサンショウウオ、コガタブチサンショウウオ、高田型トノサマガエル
 - ・生息地・個体数調査
(春期調査：5週、冬期調査：1月末から8週)
 - ・遺伝子解析
 - ・カエルツボカビ症等の伝染病の調査
 - ・産卵地整備
- ◎公共工事等に対する助言・指導を行っています。
- ◎ネットワーク会議、シンポジウム、フォーラムへの参加及び、成果発表を行っています。
- ◎地域市民への普及啓発活動を実施しています。

工夫点

希少種に関する情報の取り扱いについて

希少種の生息場所については、詳細な場所が特定できないよう、写真の選定や情報開示に配慮しています。

活動成果

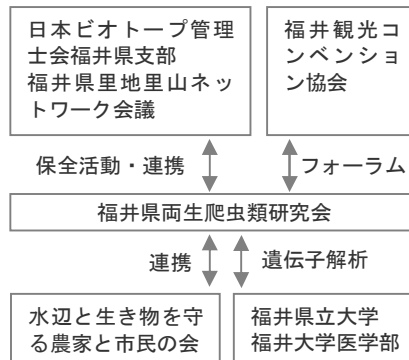
- ☆アベサンショウウオについては、生息状況や生息環境を把握し、保全対策方法を検討することができました。
- ☆アベサンショウウオの生息が確認されたことにより、地域で守るべき希少種がいるという誇りが芽生え、関心も高まったように感じます。

《活動地域》

越前市



交流・連携図



団体紹介

環境庁の保護増殖事業の実施者として発足したアベサンショウウオ研究会が、平成12年に福井県両生爬虫類研究会と改名して発足しました。両生類の生息状況調査、遺伝子解析、伝染病調査、産卵地整備、公共事業に対する助言・指導、市民への普及啓発や社会教育等の活動を行っています。また、産卵地での外来種駆除等も実施しています。

設立年：平成10年
構成員：個人 158名
住所：〒915-0041 福井県越前市葛岡町2-6
E-mail：ganchan2@gh.ttn.ne.jp
TEL：0778-23-0328 / FAX：0778-23-0328

VOICE

アベサンショウウオの確認から、調査を継続し、生息状況や環境について把握できました。今後、この結果を保全対策や維持管理に生かしていきたいと思っています！



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生生態系



沿岸・海洋生態系



中部地域の

沿岸・海洋生態系における希少種保全活動

中部地域は、藤前干潟などデルタ地帯の広大な干潟や、伊勢湾西部または加賀海岸など砂浜が延々と続く海岸線、また伊勢志摩や若狭湾のリアス式海岸など、多様な海岸環境を有し、固有の生物を育てています。

■ 沿岸・海洋生態系における保全対象

保全対象		活動団体	地域	頁
植物	アマモ		—	2-100
		アマモマーメイドプロジェクト	福井県	2-101
爬虫類	アカウミガメ		—	2-102
		あかばね塾	愛知県	2-103
		NPO法人 表浜ネットワーク	愛知県	2-104
		名古屋港水族館	愛知県	2-105
		東三河自然環境ネット	愛知県	2-106
		志摩半島野生動物研究会	三重県	2-107
		四日市ウミガメ保存会	三重県	2-108
地域	干潟の希少種		—	2-109
		六条潟と三河湾を守る会	愛知県	2-110



海洋生態系における保全対象 アマモ

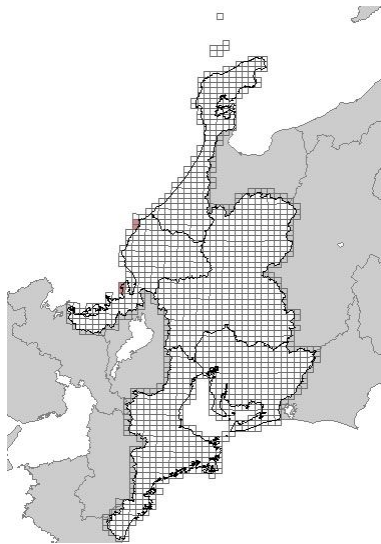
アマモ科
学名 : *Zostera marina*

文化財保護法	-	
種の保存法	-	
レッドデータ カテゴリ	環境省	-
	愛知	-
	岐阜	-
	三重	-
	石川	-
	福井	要注目
その他条例	-	



写真提供 : 三重県自然環境室

中部地域での分布



種の特徴

北半球の温帯から亜寒帯にかけての、水深 1~数 m の砂泥地に自生する海草の一種。アマモの生育には水質や砂泥質の底質が清浄であること、人工構造物によって海岸線や浅海域がかく乱されていないことなどが必要なため、海岸の指標生物ともされる。

問題・課題

- ・ 沿岸域の埋め立て、護岸工事、水質汚濁等による減少が懸念される。
- ・ アマモ場の減少は、海洋環境の悪化の結果であるとともに、その減少がさらなる環境悪化の大きな一因ともなり、漁業資源の減少にもつながる可能性が懸念される。

主な保全活動

- ・ 生息地保全
- ・ 地元住民を中心としたボランティア団体による、自然観察会などの啓発活動

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎ **アマモ苗を育成し、海底に定植する活動を行っています。**
地域住民、漁業者、近隣小中学校に出向き、メンバーの高校生達がアマモ苗の育て方を教えています。
- ◎ 学生が指導案を作成し、小中学校、地域住民へのアマモを中心とした**海洋環境に関する講義を行っています。**
- ◎ アマモの**発芽向上研究**、アマモ**分布調査**、**海洋観測**、河川からの**土砂流入調査**を実施しています。また、研究成果を、日本水産学会で**発表**しました。

《活動地域》
小浜市沿岸

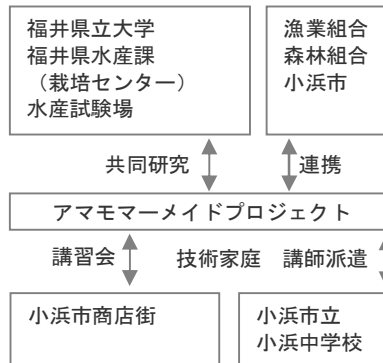
工夫点

地域との連携

アマモの苗を育てる講習会の活動により、小浜市商店街では、苗を育てる活動が恒例となっています。活動と付帯して、関係者への海洋に関する知識や、技術の普及啓発になっています。

他団体との連携

福井県立大学、水産試験場、栽培センター等と共同研究を行っています。



活動成果

☆300㎡のアマモ場を再生させ、底質の改善や多様な生物の生息が確認されるなど、環境改善が進んでいます。

団体紹介

「小浜湾を魚あふれる豊かな海に！」を合い言葉に、小浜水産高校と、地元住民や漁業者らによるアマモサポーターズと一緒に協力し、水質の浄化、底質の改善を目的にアマモ場の再生を目指しています。活動は、アマモの定植活動、分布調査や定植方法の開発などの調査研究、環境に関する講演や出張授業などの啓発活動を実施しています。

設立年 : 平成 17 年
 構成員 : 個人 100 名
 URL : <http://blue.ap.teacup.com/amamo/>
 住所 : 〒917-8555 小浜市堀屋敷 2-5-2 小浜水産高校
 E-mail : kosakayy@yahoo.co.jp
 TEL : 0770-52-1950 / FAX : 0770-53-0305

VOICE

生徒の主体性を重視し、高校生だからこそできる研究を行っています。活動が評価され、市立小浜中学校技術家庭「生物生育に関する技術」分野で、アマモに関する授業を継続的に連携することになりました！



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生生態系



沿岸・海洋生態系



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生生態系



沿岸・海洋生態系



植物



哺乳類



鳥類



爬虫類



両生類



魚介類



貝類



昆虫類

海洋生態系における保全対象

アカウミガメ

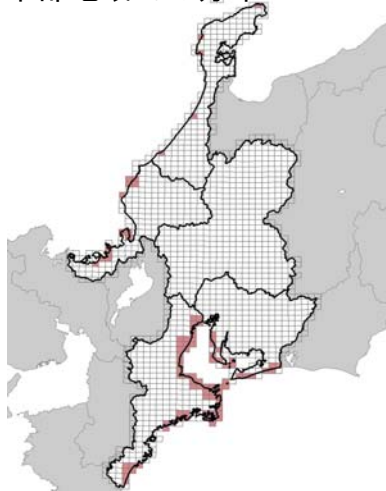
カメ目ウミガメ科

学名: *Caretta caretta*

文化財保護法	天然記念物（徳島県日和佐町、静岡県御前崎町の産卵地）	
種の保存法	-	
レッドデータ カテゴリー	環境省	絶滅危惧ⅠB類(EN)
	愛知	絶滅危惧ⅠB類(EN)
	岐阜	-
	三重	絶滅危惧Ⅱ類(VU)
	石川	絶滅危惧Ⅱ類
	福井	県域絶滅危惧Ⅱ類
その他条例	愛知県希少野生生物ワシントン条約	



中部地域での分布



種の特徴

メスの繁殖個体の直甲長は平均 890mm 程度。頭部は大きく頑健。成体の背面は赤褐色、腹面は淡黄色だが、幼体ではともに黒褐色である。冬季に海底で越冬する以外は周年活動するが、上陸するのは産卵期のみ。産卵のために砂浜に上陸するため、水域の連続性を典型的に特徴づける種である。

問題・課題

- ・ 乱獲（べっ甲、卵や肉、稚ガメのペット用、トロール漁法、はえ縄漁法による混獲）による個体数の減少が懸念される。
- ・ 砂浜海岸の護岸工事による、産卵場の縮小・減少が懸念される。
- ・ 海洋汚染（水質、ビニール、プラスチック製品等の海洋投棄）による生息環境の悪化が懸念される。

主な保全活動

- ・ 生息地保全
- ・ 生息域外保全
- ・ 地元住民を中心としたボランティア団体による、自然観察会などの啓発活動



観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

政策提言

取組内容

- ◎アカウミガメの産卵地であることから海岸清掃（年2～3回）、車の乗り入れ防止、海岸照明の消灯（5～11月）など海岸の環境整備と行政への働きかけを行ってきました。
- ◎塾生を中心にウミガメの上陸調査、産卵調査、孵化調査（5～11月）漂着物調査（年5回）を実施しています。



海岸の清掃活動

《活動地域》
田原市 表浜海岸

産卵調査の様子

写真提供：あかばね塾

工夫点

🔗 海岸の清掃を遊びの要素を取り入れて

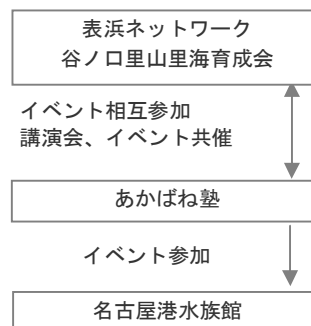
海岸清掃に関して、その一部を一般の参加者にも大勢手伝ってもらうため、ゲーム形式でゴミを拾ってもらい、ゴミの量で賞品を授与する大会を企画し、毎年100～200人程度の大がかりな海岸清掃を実施しています。

🔗 希少種に関する情報の取り扱いについて

ウミガメの産卵巣が特定されないように、目印の杭打ちは、巣から離してマーキングしています。

🔗 他団体との連携

他団体とのイベント相互参加、共催を行うほか、名古屋港水族館のウミガメ関連の行事に参加しています。



活動成果

- ☆砂浜の環境保全の取り組みにより、きれいな砂浜が確保され、安定してアカウミガメの上陸、産卵が行われています。
- ☆海岸の照明消灯により、消灯エリアのアカウミガメの産卵数が安定しています。
- ☆「平成21年度地域づくり総務大臣表彰」を受賞しました。

団体紹介

「元気のある地域づくり」を目標に、環境問題に関する活動、環境美化活動、講演会等を行っています。特に、表浜海岸（愛知県田原市）でのアカウミガメの上陸、産卵、孵化調査や海岸漂着物調査のほか、海岸の清掃や海岸証明の消灯など、海岸の環境整備を実施しています。

設立年：平成3年
 構成員：個人 30名
 URL：http://www.p-land.jp/akabane_jyuku/
 住所：〒441-3503 愛知県田原市若見町鳥居2
 E-mail：ykinpara@amitaj.or.jp
 TEL：0531-45-2102 / FAX：0531-45-3772

VOICE

今後さらに他団体との連携を深め、表浜地域全体でのアカウミガメの生息地保全のため、尽力していきたいと思っています！

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

政策提言

取組内容

- ◎アカウミガメの上陸・産卵巡回調査（春～秋）、地元高校生物部も参加しての孵化調査、砂中温熱計測などの砂浜の環境調査を実施しています。
- ◎水族館の飼育下で産卵されたアカウミガメの卵を砂浜に移植し孵化させる、名古屋港水族館の共同プロジェクトを行っており、地元の中学校も作業に参加しています。
- ◎冬期は、堆砂垣などを用いた砂丘帯・砂浜の養浜活動を実施しています。
- ◎海岸に生育する外来植物の駆除を行っています。
- ◎シンポジウムや環境教育を行っています。

工夫点

👉 養浜活動

砂丘帯、砂浜の再生事業として、堆砂垣と草方格を設置し、自然の力を利用して養浜を行っています。材料は、近くに自生するメダケや葦などを利用し、自然還元を考慮しています。

👉 希少種に関する情報の取り扱いについて

活動報告の際には、アカウミガメの産卵場所などは特定しないようにしています。

👉 野生生物との関わり方

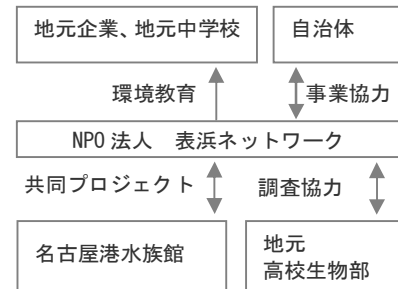
原則自然孵化とし、できるだけ人の手を加えないように注意しています。観察会についても、野生生物の活動時間内に行うようにしています。

《活動地域》

豊橋市（表浜海岸）、田原市（表浜海岸）、静岡県湖西市



交流・連携図



活動成果

☆自治体が進めているエコ・コースト事業と併せて、養浜活動を実施していますが、堆砂垣によって堆砂した場所に、アカウミガメの産卵が確認されました。

団体紹介

静岡県新居町のウミガメ市民研究家、加藤弘氏と豊橋技術科学大学 青木準教授(当時)によって、メーリングリストの活動から始まった団体です。表浜海岸にて、様々なイベントを実施しながら、アカウミガメの上陸・産卵巡回調査、地元高校生物部も参加しての孵化調査、砂中温熱計測などの砂浜の環境調査を実施しています。

設立年：平成17年
 構成員：個人 38名、団体 2団体
 URL：http://www.omotehama.net
 住所：〒441-3124 愛知県豊橋市寺沢町睦美 665-12
 E-mail：office@omotehama.org
 TEL：0532-21-1192 / FAX：0532-21-1192

VOICE

自然還元と自生種にこだわって、堆砂垣と草方格を設置し、自然の力を利用する養浜活動を行っています。成果として、堆砂垣の設置箇所、アカウミガメの産卵が確認されました！

観察・調査研究

種の保全

普及啓発

取組内容

- ◎産卵のための人工繁殖地を園内に建設しました。
赤外線センサーと高感度カメラの設置によりウミガメの交尾、産卵行動を調査・研究しています。
- ◎孵化個体を飼育し、産卵を確認しました。
- ◎館内レクチャーを実施しています。
- ◎普及啓発のための放流会を実施しています。
- ◎研究のための標識放流を実施しています。
- ◎平成7年、平成9年、平成10年には、田原市の赤羽海岸においてアカウミガメの上陸・産卵個体数、産卵個数調査を実施しました。
- ◎普及啓発のために、産卵観察会（年一回）や子ガメとのふれあいを実施しています。

他団体との連携した取組み

- ・表浜ネットワークと協働し、アカウミガメの卵を表浜海岸に移植、自然孵化を実施しました。
- ・アメリカ大気海洋気象局（NOAA）との共同や、愛知県立三谷水産高校の協力を得て、アカウミガメの回遊経路調査を実施しました。
- ・COP10 パートナー事業として、NOAA、シンガポールのアンダーウォーターワールド（水族館）と協働し、シンガポール周辺でタイマイの回遊経路調査を実施予定です。

活動成果

- ☆繁殖期のウミガメの詳細な行動を把握しました。また、血液中の性ホルモンの変化や子ガメの父親鑑定、交尾、受精、産卵にいたる条件やメカニズムの解析ができました。
- ☆15年間（卵数 13633 個、孵化数 8248 個体）のアカウミガメ人工繁殖に成功しました。

団体紹介

ウミガメの生態の解明や保護、繁殖を行うことを目的に、アカウミガメ、アオウミガメ、タイマイの飼育、研究を行っています。館内には人工産卵場、ふ化場を整備し、繁殖行動の把握を行っているほか、館内で生まれたアカウミガメの卵を自然の浜に移植し、自然ふ化させる取組も行っています。その他、回遊路調査や放流会等による普及啓発も行っています。

設立年 : 平成4年
 構成員 : 専属担当者 2名、アシスタント 2名
 URL : <http://www.nagoyaaqua.jp/aqua/index.html>
 住所 : 〒455-0033 愛知県名古屋市港区港町1-3
 TEL : 052-654-7080(代) / FAX : 052-654-7001(代)

VOICE

ウミガメの保護活動を実施して15年になります。今後は、孵化した子ガメの野生復帰から、卵を自然海岸に埋めて孵化させるといったより自然に近い方法へシフトしていきたいです！



写真提供：名古屋港水族館



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生生態系



沿岸・海洋生態系

A15 東三河自然環境ネット アカウミガメの保全

愛知県

観察・調査研究

種の保全

普及啓発

取組内容

- ◎上陸・産卵調査、流失の恐れのある卵を近辺の砂浜やふ化場へ移動するなど保護活動を実施しています。
- ◎一般市民、特に親子を対象に7月～10月にかけて、表浜海岸の自然についての理解とその保全に対する意識の向上を目的に、3回の自然観察会を行っています。
- ◎一般市民を対象にして、アカウミガメ調査員養成講座を開催しています。
- ◎チラシを作成し、生物多様性保全への理解を深めてもらうよう啓発活動を実施しています。

《活動地域》

豊橋市内表浜海岸



工夫点

希少種に関する情報の取り扱いについて

アカウミガメが波打ち際で産卵したときなどにおいては、周辺の状況を確認し、場合により卵を近辺の砂浜やふ化場へ移動しています。

他団体との連携

東三河自然環境ネットは、愛知県が中心になってまとめしてきた「東三河生物多様性保全事業」が環境省に採択されたのを受け、地元のNPOなど7団体で構成された地域生物多様性保全協議会として組織されています。人的交流や情報共有など、多面的な協力関係が築かれています。

東三河自然環境ネット

●事業推進団体

- NPO 穂の国森づくりの会
- NPO 東三河自然観察会
- 愛知大学
- 豊橋うみがめクラブ

■事務局

- 愛知県
- 豊橋市
- 東三河懇話会

活動成果

☆豊橋市では平成4年度よりアカウミガメの実態調査を行っていますが、平成4年度の上陸200回・産卵136回を最大に年々減少し、平成9年度には上陸21回・産卵7回まで減少しましたが、その後徐々に回復し、平成21年度は上陸106回・産卵72回と回復しています。

団体紹介

愛知県がまとめた東三河生物多様性保全事業が平成20年6月に環境省の生物多様性保全推進支援事業に採択されたのを受け、愛知県とNPO、大学等で構成する「東三河自然環境ネット」を立ち上げました。各団体において、アカウミガメ等の希少種の保護活動や保全提言や生物多様性への理解を深めるための啓発活動等を行っています。

設立年：平成20年
 構成員：個人 22名
 URL：<http://ameblo.jp/kame-kame/>
 住所：〒510-0017 三重県四日市市羽津町2-16
 E-mail：welkameyokkaichi@kame-kamehakubutukan.com
 TEL：090-5111-0297 / FAX：059-331-8616

VOICE

日本三大公害で有名な「ゼンソクの街・四日市」を「ウミガメの街・四日市」に変えていくため、今後も様々な活動を展開します。全国の活動団体との交流も深めていきたいです！



観察・調査研究

種の保全

普及啓発

取組内容

- ◎上陸、産卵およびストランディングの調査、混獲個体の調査を実施しています
- ◎流出のおそれがある卵については、卵の移植を行っています。
- ◎調査結果を用いて、年1回のシンポジウムや、野生生物学会など啓蒙活動を実施し、ホームページで調査の研究報告を公開しています。



卵の移植の様子

《活動地域》
松坂～南伊勢

産卵場所の保護

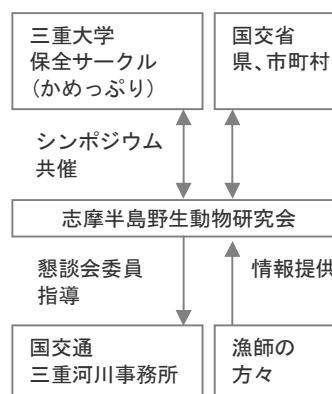
工夫点

希少種に関する情報の取り扱いについて

地域による保全意識の差があるため、地域によって、アカウミガメの産卵場所を明らかにしたり、又逆に分からないようにするなど、地域に適した対応をとっています。

他団体との連携

三重大学のウミガメ・スナメリ調査・保全サークル(かめっぷり)と協働でシンポジウムを年1回開催する他、国(国土交通省)、県、市町村と協力し、情報の提供や保全活動を実施しています。また、国土交通省三重河川事務所の伊勢湾西南海岸懇談会委員として、海岸工事の改善点などを指導しています。その他、混獲個体の調査において、猟師の方々に情報の提供を協力していただいています。



活動成果

☆継続して調査したことで、アカウミガメの個体数が減少していることが判明しました。これらの結果を基に行政に働きかけ、現在では連携して保全活動に取り組むことができています。

団体紹介

ウミガメや多くの野鳥が生息する自然豊かな志摩半島において、何かできることはないかという想いで活動を始めました。志摩半島を中心に、三重県内および伊勢湾や熊野灘の野生動物の生息状況をモニタリングし、野生動物とその生息環境の保護・保全を考え、行動しています。現在のおもな活動は、アカウミガメの産卵状況、伊勢湾におけるスナメリの生息状況、県内に生息する希少動物の確認などの調査です。

設立年 : 昭和 63 年
 構成員 : 個人 60 名
 URL : <http://www.shima-yaseiken.sakura.ne.jp/>
 住所 : 〒517-0704 三重県志摩市志摩町越賀 555 中村方
 E-mail : ikuowaka@ami2.ne.jp
 TEL : 0599-85-3744

VOICE

志摩半島の貴重な自然を広く知っていただき、行政や住民に保全を働きかけていきたいと思っています！

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎平成 15 年産卵・孵化が確認された、吉崎海岸の産卵地保全のための清掃活動を実施しています。
- ◎アカウミガメが上陸し産卵を確認するための足跡探し（5月～8月）の調査を行っています。
- ◎産卵場所への防護ネット、看板の設置を実施しています。
- ◎清掃活動に併せて、自然や環境に関する専門家を招き、勉強会を実施しています。
- ◎地域の公共施設にて、「三重のうみづくりシンポジウム」の開催を行い、地域への普及啓発に努めています。

工夫点

- 📖 希少種に関する情報の取り扱いについて
アカウミガメの産卵を確認した場合は、防護ネットを設置し看板を立て、公表することで、地域と共に孵化を見守っています。
- 📖 他団体との連携
「海をきれいにするためには山から」という気持ちから、森林保全を行っている2団体と交流を深めています。また、三重県は南北に長い海岸線を有しているため、各地の海のリーダーを集めたシンポジウムの開催を予定しています。
- 📖 地域とのつながり
地域の自然資源を生かしたエコツアーを行っています。「ウミガメの海」のPRとともに、地域や地元漁業へ貢献を目指しています。

《活動地域》

四日市市楠町吉崎海岸



団体紹介

「ウミガメを通して地元の自然環境を守るとともに人の輪を広げていこう」を活動テーマに、地元役場や連合自治会とタイアップして設立されました。平成 15 年アカウミガメの産卵・孵化が確認された吉崎海岸の産卵地保全を目的とした月1回の清掃活動や、自然や環境に関する専門家を講師に招いて、勉強会開催などを行っています。

設立年 : 平成 20 年
 構成員 : 個人 22 名
 URL : <http://ameblo.jp/kame-kame/>
 住所 : 〒510-0017 三重県四日市市羽津町 2-16
 E-mail : welkameyokkaichi@kame-kamehakubutukan.com
 TEL : 090-5111-0297 / FAX : 059-331-8616

VOICE

日本三大公害で有名な「ゼンソクの街・四日市」を「ウミガメの街・四日市」に変えていくため、今後も様々な活動を展開します。全国の活動団体との交流も深めていきたいです！



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生生態系



沿岸・海洋生態系

海洋生態系における保全対象

干潟の希少種

愛知県三河湾

中部地域の干潟

環境省による干潟の定義は「干出幅 100m 以上、干出面積が 1ha 以上、移動しやすい基底（砂・礫・砂泥・泥）を満たしたもの」とされ、これに基づく中部地域の干潟は、愛知県と三重県に分布する。

愛知県の三河湾では、田原湾、福江湾、吉田港（矢作古川河口）周辺、豊川河口周辺等を中心に発達している。福江湾では、アサリ増殖を目的とした干潟の造成が行われた。伊勢湾では、庄内川、新川、日光川河口付近に残っている。この他、知多半島の西海岸にまとまった干潟が発達している。

三重県内の干潟は 37 地点あり、伊勢湾内に注ぐ河川の河口域などを中心に分布する 22 地点と、熊野灘に面する内湾域に流入する小河川の河口域に広がる 15 地点に大別される。



希少な生物

【植 物】コアマモなど

【鳥 類】ハヤブサ、ミサゴなど

【魚介類】スナメリ、ウミタケ、オオノガイ、ウミニナ、イボウミニナ、カワアイ、サビシラトリ、カワウラツボ、ネコガイ、ムシロガイなど

問題・課題

- ・ 埋立、護岸工事など開発や整備による生息地減少が懸念される。
- ・ 海洋汚染（水質汚濁、貧酸素層の発生、底質のヘドロ化、富栄養化）による生息環境の悪化が懸念される。

主な保全活動

- ・ 内湾の潮間帯の環境保全（干潟、内湾域の水質改善など）
- ・ ヨシ原湿原と連続する上部の陸上植生の保全

観察・調査研究

生息地保全

普及啓発

取組内容

- ◎生育状況調査（不定期）、市民参加の観察会（毎年4～5月）を実施しています。
対象種：コアマモ、オオノガイ、ウミニナなど
- ◎港湾計画検討委員会に委員として参加しています。

《活動地域》

豊橋市六条潟



工夫点

行政、他団体との連携

他の環境団体と共催で観察会を実施しながら、県に対して、埋立開発計画を見直し、干潟を保全するよう一貫して働きかけてきました。

活動成果

☆漁業保護の観点より、六条潟の全面埋立の計画は見直しが行われ、残存干潟の大半は残される見通しとなっています。生息環境の保全により、絶滅は避けられることになりました。

団体紹介

三河湾域の埋立て事業についての環境影響評価準備書に対する意見書を提出する運動から、干潟の保全と三河湾の環境修復を目的として設立されました。コアマモ、オオノガイ、ウミニナ等の生育状況の調査（不定期）、毎年4～5月に行う市民参加の観察会、港湾計画検討委員会に委員として参加するなどの活動を行っています。

設立年：平成11年
 構成員：個人 10名
 URL：<http://www.rokujogata.net/contents/>
 住所：〒441-1101 愛知県豊橋市賀茂町山屋敷28-1
 E-mail：ichinok7@mx3.tees.ne.jp
 TEL：0532-88-4358 / FAX：0532-88-4358

VOICE

三河湾域の埋立て事業についての環境影響評価準備書に対する意見書を提出する運動から、干潟の保全と三河湾の環境修復を目的として、活動を行ってきました！